

**重要！** 旧バージョンをご使用の場合は「7」項を参照してください。

※ Ver10.00 以前をご使用の場合は必ず「7(1)3b」をご覧ください。

※ インストーラーの変更によりアドインプログラムの上書はできません。

**年間、月間、週間、四半期、半期、優勝回数、を手入力なしで集計できます。**

※ 2 個のプログラムを収録しており、「XL\_4R\_グラウンドゴルフ Pg. xlam」をインストールする必要があります。同梱の「XL\_4R\_GG\_同好会\_2015 03 29. xlsx」は、スコアカードの打数を入力して順位集計をします。本プログラムは前記の集計を取り込んで年間、月間、週間、四半期、優勝回数などの集計ができます。「XL\_4R グラウンドゴルフ集計プログラム説明書」を先にご覧になりその後でこちらをご覧ください。

# XL\_Z4 全試合スコア集計説明

*Version 5.03*

*(Excel 2021, 2016, 2013, 2010 に対応)*

Word2021 で作っていますがサイズが大きいため添付できません。下記 URL で配布しています。

Word 版 説明書、サンプル試し用ファイルダウンロード URL :

<http://tatsu.la.coocan.jp/>

*2024. 03. 01*

*By Tatsu*

著作権 : 著作権は本プログラムの作成者にあります。  
配布・転載 : プログラムの配布、転載等は一切お断りします。  
連絡先 : E-Mail: w-tatsu14a@nifty.com

# 目 次

1 この説明書の使用方法 .....	- 1 -
(1) Word 版の説明書ファイルの配布 .....	- 1 -
(2) Word の「戻る」、「進む」ボタンを表示する方法 : .....	- 1 -
(3) 図の文字が小さくて読めない場合は次のようにしてください。 .....	- 2 -
(4) Word のカーソル「 」が小さくて見えない場合 .....	- 2 -
(5) この説明書の文字を検索する場合は次のようになります。 .....	- 2 -
(6) プログラムの使用にあたってのご注意 .....	- 2 -
2 概要・特徴など .....	- 3 -
3 配布用ファイルの説明 .....	- 5 -
(1) 配布用ファイルの説明 .....	- 6 -
(2) インストール・アンインストール .....	- 7 -
(3) コンテンツの有効化 .....	- 7 -
(4) インストール .....	- 7 -
(5) アンインストール .....	- 8 -
(6) 新バージョンに更新する場合 .....	- 9 -
4 「XL_Z4 全試合スコア集計プログラム」の使用法 .....	- 11 -
(1) ユーザー用のデータフォルダを作る .....	- 11 -
(2) 前項「(1)」の取り込みユーザー用の全スコア集計データファイルを作る .....	- 11 -
(3) 全試合スコア集計タブについて .....	- 11 -
(4) 全シートへ西暦タイトル記入 .....	- 11 -
(5) 全シート表の初期化 .....	- 12 -
(6) 氏名の取込 .....	- 12 -
(7) 全スコアデータ取り込み .....	- 13 -
(8) 自動追加取り込み .....	- 15 -
(9) 選択取り込み .....	- 15 -
(10) シートへ一括転送 .....	- 16 -
(11) 年間合計印刷データ .....	- 17 -
(12) 週間データ .....	- 17 -
(13) 月間データ .....	- 18 -
(14) 四半期データ .....	- 18 -
(15) 半期データ .....	- 18 -
(16) 優勝回数データ .....	- 19 -
(17) 「年間・月間」シート .....	- 19 -
(18) 「上期・下期」シート .....	- 19 -
(19) ラウンド平均表示値 .....	- 19 -

(20) 総合計再計算.....	- 20 -
(21) 「試合総合計」の順位の決め方と出席率などについて.....	- 20 -
(22) 基準出席率設定 .....	- 21 -
(23) 並べ替え.....	- 21 -
(24) 印刷プレビューの余白マージン等の設定について.....	- 21 -
(25) 検索.....	- 25 -
(26) 表罫線の再設定 .....	- 25 -
(27) 字幕付け.....	- 25 -
(28) 全シートの下部に用紙追加.....	- 25 -
(29) 氏名の書き出し .....	- 25 -
(30) 年度の途中で氏名を追加する場合 .....	- 26 -
5 トラブルが起きた場合 .....	- 26 -
(1) Excel を開くたびにファイルが見つからないメッセージを表示する .....	- 26 -
(2) 全試合スコア集計タブを表示しない。その他のトラブル .....	- 28 -
(3) ある日突然考えられないような異常な動作をするようになったなどの場合 .....	- 28 -
6 データベース化した本プログラムの使い方要約 .....	- 28 -
(1) XL_Z4_全試合スコア集計プログラム.....	- 28 -
7 バージョンの変更内容 .....	- 29 -
(1) バージョンアップについての変更内容 .....	- 29 -
8 拡張子の説明.....	- 34 -
(1) 拡張子について .....	- 34 -
(2) Windows10 の拡張子の表示方法： .....	- 35 -
(3) Windows11 の拡張子の表示方法： .....	- 35 -

## 1 この説明書の使用法

この説明書はペーパーレスで使用することを前提として作っており印刷して使用した場合は Microsoft Word や「Acrobat Reader DC」などの便利な機能、リンク先へジャンプが使いません。

「XL\_Z4\_AR 全試合スコア集計 2014. xlsx」と、この「XL\_Z4 全試合スコア集計説明書 V5. 03. pdf」を同時に開き「[図 1 タスクバーを使用](#)」の図のように「Excel」と「Adobe Reader」をタスクバーで切り替え「XL\_Z4\_AR 全試合スコア集計 2014. xlsx」を实践しながら本説明書を読むと理解し易くなります。



図 1 タスクバーを使用

本説明書の「目次」や「各章」の“「」”でくくった「青色」文字列の部分をクリックするとリンク先にジャンプし「図」、「表」、「説明」を参照できます。

「Acrobat Reader DC」を使用して PDF 版説明書を開いた場合は「青色」文字列上をポイントし「手」のマークをクリックし「進む」ジャンプ先ではショートカットキーの操作で Alt + 左向き矢印で戻り、進む場合は Alt + 右向き矢印キーが使用できます。

参照先に移動してみないと理解しにくいということがありこの方法をご利用ください。

### (1) Word 版の説明書ファイルの配布

**Word2016 で作っていますがサイズが大きいため添付できず表紙の URL で配布しています。**

上記で説明の「Acrobat Reader DC」では「戻る」、「進む」の操作において特に「戻る」の操作の場合、元の位置を少し外れて戻ってしまい非常に使いにくい点があります。本説明書は Word で作成しており、Pdf に変換したとき「相互参照」の文字の色「青色」や下線がところどころ消えて分かりにくい点があります。(Alt+F9 でフィールドを更新する場合も色が抜けるので Word のバグ?)



Word2010の場合

Word2016の場合

図 2 Word の「戻る」、「進む」ボタンの表示

### (2) Word の「戻る」、「進む」ボタンを表示する方法：

Word2010 の場合「[図 2 Word の「戻る」、「進む」ボタンの表示](#) クイックアクセスツールバー（赤枠のバー）の中に「戻る」、「進む」ボタンを作るにはクイックアクセスツールバーの右端にあるドロップダウンボタンをクリックして＜その他のコマンド(M)＞ Word の「オプション」ダイアログボックスを開き「クイックアクセスツールバーをカスタマイズします」の下「コマンドの選択(C)」リストボタンで＜リボンにないコマ

ンド>「戻る」ボタンをクリック<追加(A)>を押します。同様に「進む」ボタンをクリック<追加(A)>><OK>を押します。

**(3) 図の文字が小さくて読めない場合は次のようにしてください。**

「Acrobat Reader DC」ではツールバーのズームイン「⊕」で倍率を上げてください。

Word の場合は「表示」タブの「ズーム」をクリックし「指定(E)」に適当な数字を入力して見易くしてください。

**(4) Word のカーソル「|」が小さくて見えない場合**

上記の「戻る」、「進む」の操作においてカーソル「|」が見えにくい場合は次のようにすると楽です。(Windows10 の機能です) 参考 URL : <https://eee-life.com/bb/a/60>

- 1) コントロールパネル開くために<Windows キー(Alt の左側キー)>><c>><p>><Enter>の順にキーを押してください。
- 2) コントロールパネルの<コンピューターの簡単操作>を選択。
- 3) <コンピューターの簡単操作センター>を選択。
- 4) <コンピューターを見やすくします>を選択。
- 5) <画面上の項目を見やすくします>><点滅カーソルの太さを設定します>  
リストボックスの数値を「2~4」程度に変更し、プレビューで大きさを確認して<OK>を押します。

**(5) この説明書の文字を検索する場合は次のようになります。**

<ホーム>タブ<編集>グループ<検索>リストをクリック<高度な検索(A)>をクリックし「オプション(M)」ボタンで「あいまい検索」のチェックを外します。「検索する文字列(N)」ボックスに検索文字を入力して説明場所を探す方法が便利です。「あいまい検索」はチェックマーク OFF の方が探し易いと思います。

**(6) プログラムの使用にあたってのご注意**

Web で配布したソフトですが、著作権は放棄していません。プログラム、説明書、関連するものを別のすべての媒体へ複製または、頒布、転載などのすべてを禁じます。

競技者に電子メール等で配布する場合、試合のデータファイル(「[拡張子](#)」が「\*.xlsx」)は構いません。アドインプログラム「XL\_Z4 全試合スコア集計プログラム.xlam」や「全試合 Z4 スコア集計インストール・アンインストール.xlsm」はプログラム含んでいるので配布は一切禁止します。

このソフトの使用による直接的、間接的なあらゆる損害の免責を、承諾の上でご使用ください。Excel のすべてバージョンや使用機器で完全な動作確認をしているものではありません。(開発や動作試験の確認については配布ファイル Readme.txt に記載したとおりです) このサンプルで使用する人名・その他はすべて架空のものです。

本説明書では作成時の Excel のバージョンが複数にまたがり画像がバージョンによってそれぞれ異なるため予めご了承ください。

## 2 概要・特徴など

- 1) 添付のファイルは、本プログラムと別のもう一つをまとめて配布しておりますので以下の説明で順次おわかりになると思いますが、インストーラーと説明書がそれぞれ別にあります。  
「図 4 配布ファイルの内容」図をご覧ください。本プログラムは「XL\_4R\_グラウンドゴルフ Pg. xlam」の制御を基にしたデータベースファイルを読み込んで動作するプログラムなので<XL\_4R\_G ゴルフ 12. 03>—<XL\_4R\_G ゴルフ Add-inPG>フォルダ内の「XL\_4R\_グラウンドゴルフ集計プログラム説明書 V1203. pdf」を先にご覧になり、その上で<XL\_4R\_G ゴルフ 12. 03>—<GG 同好会\_4R>—<GG 同好会全試合データ 2014>—<全試合スコア集計>フォルダの「XL\_Z4\_AR 全試合スコア集計 2014. xlsx」ファイルの操作方法を本説明書でお試ください。
- 2) 本プログラムはグラウンドゴルフ練習試合などの成績を年間単位で集計するプログラムです。スコアを手動で入力することなく「年間全データ」シートからアイコンの「取り込みボタン」をクリックする操作により「XL\_4R\_GG\_同好会\_2015 03 29. xlsx」ファイルの「点数順集計表」からデータを取り込み集計できます。「1)」項で説明のように本プログラムには集計済みのサンプル「XL\_Z4\_AR 全試合スコア集計 2014. xlsx」を同梱しており試し操作ができます。
- 3) 「年間全データ」シートで「全試合スコア集計タブには「全スコアデータ取り込み」、「自動追加取り込み」、「選択取り込み」があり、「XL\_4R\_GG\_同好会\_2015 03 29. xlsx」を基本にして作ったユーザー用のデータベースファイルを本プログラム側に一気に取り込み各種の集計ができます。
- 4) 通常使用するリボンのアイコンは上記の「選択取り込み」と「シートへ一括転送」を実行するだけで全試合スコア集計ができます。（これらの操作は以下の「4 (9) 選択取り込み」と「4 (10) シートへ一括転送」で説明しており、これらの操作だけで次の「5)」で説明の「年間・月間」シート、「上期・下期」シートを印刷する操作は終了です。）
- 5) 翌試合日には「年間・月間」シートのデータを印刷して（下期になると「上期・下期」シートを印刷して）掲示すると喜ばれると思います。通常試合会場で掲載するのは、別の「XL\_4R\_グラウンドゴルフ集計プログラム説明書」で記載した「点数順集計表」シートと本書で説明の「年間・月間」シート（下期は「上期・下期」シートも）を掲示するだけ良いと思います。
- 6) 年間全データシート（「図 3 年間集計表」の図）から「シートへ一括転送」によりのシート名「年間合計印刷」、「週間データ」、「月間データ」、「四半期データ」、「半期データ」、「優勝回数」などへデータを転送して成績を一発集計できます。
- 7) 集計の並べ替え順には「番号順に並べ替え」、「氏名順に並べ替え」、「試合日順位で並べ替え」、「総合計 H1 順で並べ替え」、「総合計順位で並べ替え」、「総合計出席率で順並べ替え」を用意しております。
- 8) 1R や 2R、3R、4R などの試合数がランダムであっても集計は可能です。
- 9) 「基準出席率」を設定して成績順位を集計できます。
- 10) 本プログラムは Add-in 版のためプログラムのバージョンアップをした場合は「XL\_Z4 全試合スコア集計プログラム. xlam」の上書きだけで済み簡単です。
- 11) その他「全シートの初期化」など、数多くの補助機能を用意しています。



## 2014年度グラウンド・ゴルフ成績表

年間合計印刷 基準出席率: 50 %

自: 2014/04/03 ~ 至: 2015/03/28

番号	氏 名 (敬称略)	2/28 (土) 3			3/5 (木) 3			3/7 (土) 3			3/12 (木) 3			3/14 (土) 3			3/21 (土) 3			3/26 (木) 3			3/28 (土) 3			試合総合計(順位: 1R平均)							試合RUD数	
		合計	H1	順位	合計	H1	順位	合計	H1	順位	合計	H1	順位	合計	H1	順位	合計	H1	順位	合計	H1	順位	合計	H1	順位	合計	H1	3R 平均	1R 平均	順位	出席 日数	出席 率		
6	金子 芳美	57	1	1	53	3	1				55	2	1	53	1	1	55	2	1	65	1	9	57	1	1	2824	37	59.7	19.89	1	48	70		
12	佐々木 英明	62		5	54	2	2				68		9	61		7	59		3	49	3	2	58	1	2	3796	49	59.9	19.98	2	64	93		
14	神宮司 理沙	73		10	62		4	54	2	1	62		6	56	1	2	59	1	2	64	1	7	63	1	4	3758	42	62.6	20.88	3	60	87		
16	谷口 浜子	65		7	70		9	56		3	57	2	2	68		11				56	2	5	70	1	8	4113	44	63.0	20.98	4	66	96		
9	木村 素子																63		7	66	1	10				3950	38	63.4	21.12	5	63	91		
28	山住 政人	72		8	67		8	76		6	62		5	67		10	64		8	55	2	4				3604	37	64.0	21.33	6	57	83		
1	青木 真理子	57	1	2	65		5	68		4	60		3	59		6				55	3	3	60	2	3	3496	31	65.6	21.85	7	54	78		
15	瀬山 秋子	64		6	67	1	7	69		5	68		10	57	1	4	65		9	64		8	69		7	4154	26	65.6	21.86	8	64	93		
11	小林 昭子	59	1	3	61	1	3							66		9				66		11				2437	15	65.9	21.95	9	37	54		
10	小泉 智亜子	72		8	74		11	55	1	2	65	1	7	57	3	3	63	2	6	70	1	13	70		9	4471	44	67.4	22.47	10	67	97		
8	北村 千鶴子	62		4	66		6				65		8	59	2	5	60	1	5	61	1	6	67	1	5	3866	34	67.4	22.48	11	58	84		
7	川岡 秀雄																60	1	4	44	4	1				2048	25	60.2	20.08		34	49		
13	澤辺 寿子																			67		12				868	15	62.0	20.67		14	20		
4	伊藤 紀江	74		11	74		10				62	1	4	66		8				72		15	68		6	2008	17	66.2	22.07		31	45		
22	長谷川 悦雄																			70		14	72		10	688	5	68.8	22.93		10	14		
17	辻井 美津子																						89	1	11	89	1	89.0	29.67		1	1		
2	浅岡 智宏																																	
3	石宗 和歌子																																	
5	内山 恵美子																																	
18	中川 由加里																																	
19	中山 孝実																																	
20	夏川 智実																																	
21	野山 孝一																																	
23	浜崎 百合子																																	
24	藤木 真紀子																																	
25	平野 芳子																																	
26	松山 義之																																	
27	安田 由紀																																	
29	山本 秀子																																	
30	吉岡 由加里																																	
31																																		
32																																		
33																																		
34																																		
35																																		

図 3 年間集計表

### 3 配布用ファイルの説明

下記「※」印のフォルダが本説明書「XL\_Z4 全試合スコア集計プログラム」の関係になります。

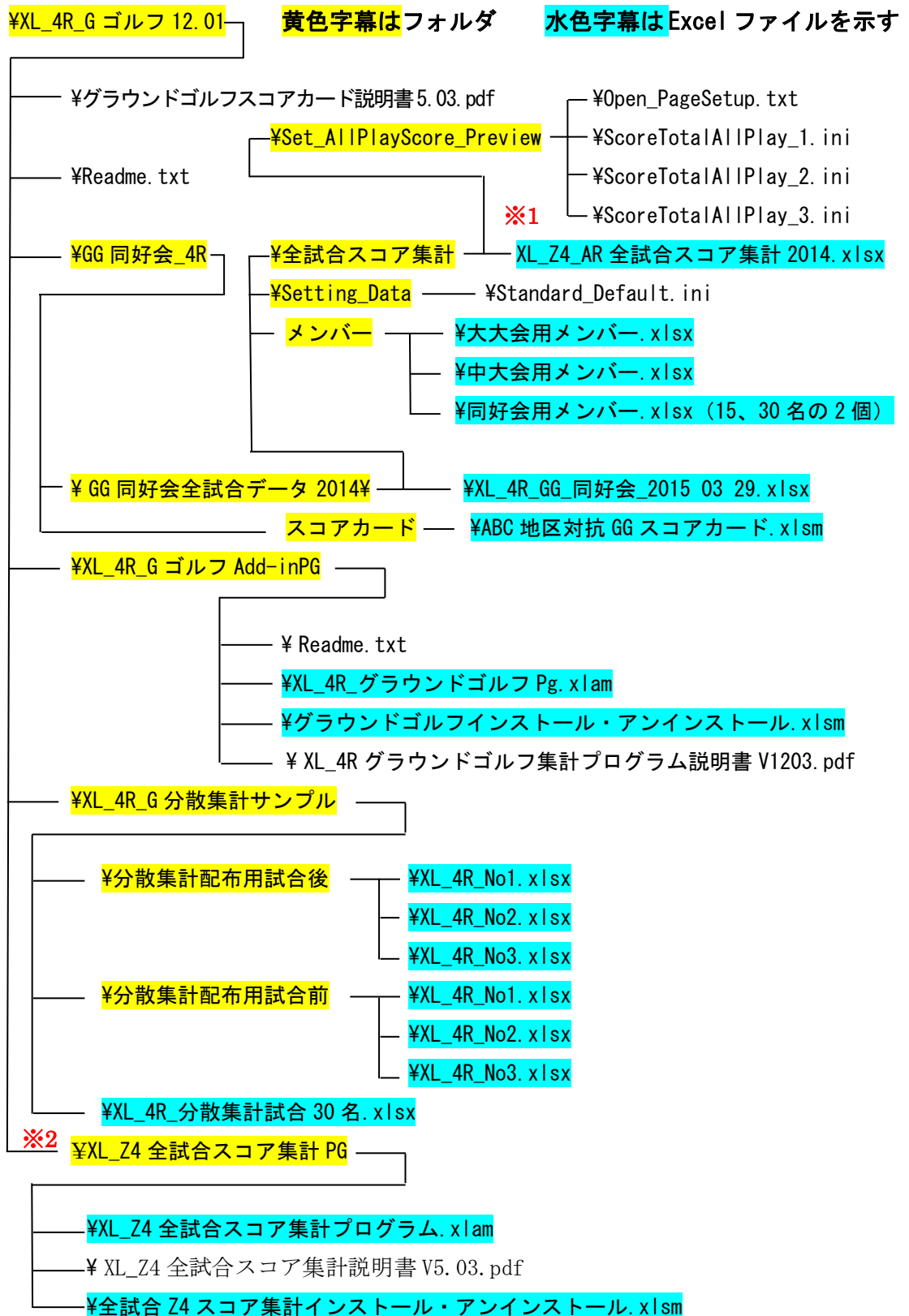


図 4 配布ファイルの内容



## (1) 配布用ファイルの説明

配布用の zip 圧縮ファイル「XL\_4R\_Ggolf1203.zip」をデスクトップで右クリックしてショートカットメニューを表示し、すべて展開(T) >で解凍してできた「XL\_4R\_G ゴルフ 12.03 フォルダ」の中は「図 4 配布ファイルの内容」図のように構成されています。

同図の「※1」のファイルと「※2」のフォルダが本説明書の関係部分です。他の部分は同梱の「XL\_4R\_グラウンドゴルフ集計プログラム」の関係になります。同図の¥マークはフォルダです。この「XL\_4R\_G ゴルフ 12.03」をフォルダごとドキュメントフォルダに保存してください。ユーザー用のフォルダの作り方は添付の「XL\_4R\_グラウンドゴルフ集計プログラム説明書」の「ユーザー用の試合集計用フォルダの作り方」を参考に作ってください。

- 1) 「XL\_Z4 全試合スコア集計プログラム.xlam」: 「XL\_4R\_GG\_同好会\_2015 03 29.xlsx」など、先頭に「XL\_4R」が付いた毎試合のユーザー用ファイルを「XL\_Z4\_AR 全試合スコア集計 2014.xlsx」のリボンのアイコンを使用して年間の集計をするアドインプログラムファイルです。(このファイルはプログラムですからダブルクリックしないでください。変な操作をすると壊れるし、シートだけ以外なにも表示しません)

- 2) 「全試合 Z4 スコア集計インストール・アンインストール.xlsm」:

「1」項のプログラムをアドインに組み込みするときに使用する Excel VBA マクロを使用したファイルです。新バージョンの更新時には「(6)新バージョンに更新する場合」を参考に使用してください。

そのほかアドインに組み込みした場合、以後この「XL\_Z4 全試合スコア集計プログラム.xlam」を一切使用しない場合にアドインを解除するために使います。

- 3) 「Set\_AllPlayScore\_Preview」フォルダ:

合計欄は日付の部分と列幅が違うために三種類のプリントプレビューの設定を保存して置くファイルでユーザーが直接ファイルを開くなどの操作はしません。配布したままのフォルダ構成でないと機能しませんので移動しないでください。

説明は後述する「4 (24)印刷プレビューの余白マージン等の設定について」を参照してください。

- 4) 「XL\_Z4\_AR 全試合スコア集計 2014.xlsx」:

このファイルは本説明書用のサンプルファイルであると共に、このファイルを開き名前を付けて保存により別名の「ユーザー用」の集計ファイルとして使用します。これらのファイルは VBA マクロ (Visual Basic for Application Edition) と呼ばれるマクロプログラムを含まない普通の Excel ブックです。前記の「1」項のアドインプログラムが背後で動作をコントロールします。アドインプログラムに「XL\_Z4 全試合スコア集計プログラム」であるという認識をさせるためには、ファイル名の付け方に次の決まりがあります。

競技用のファイル名の先頭 5 文字「XL\_Z4」(5 文字全て半角文字とし大文字の「XL」、「アンダーバー」、「Z4」の文字列) はアドインプログラムで使うための必須文字です。

アドインプログラムは、先頭の 5 文字「XL\_Z4」だけを分離識別し、「XL\_Z4 全試合スコア集計プログラム」ということを認識してこのプログラムが処理を開始します。

残りの文字列は競技名などを加え、ファイル名を付ける場合、Windows の定義により、「¥ / , ; : \* ? " < > |」などの半角文字については当然使用できません。

(末尾に日付などを入力する場合は「.」(ドット)の使用も「[拡張子](#)」と区別しにくいので使わないでください。その場合は半角スペースを使用します。全角字入力状態の場合の半角の空白文字列は「Shift」 + 「スペース」で半角スペースが入力できます。)

「[XL\\_Z4 全試合スコア集計プログラム](#)」の使用方法」以降で説明しています。

- 5) 「XL\_Z4 全試合スコア集計説明書 V5.03.pdf」:

この説明書です。

- 6) 「Redme.txt」:

このプログラムファイルの所在、動作に必要な条件などを記述した簡単な説明ファイルです。

## (2) インストール・アンインストール

解凍したフォルダ<XL\_4R\_G ゴルフ 12.03>—<XL\_Z4 全試合スコア集計 PG> フォルダを開いて「全試合 Z4 スコア集計インストール・アンインストール.xlsm」を開くと、「[図 5 保護されたビュー](#)」のように恐ろしいメッセージを表示します。(マクロが含まれている場合 Excel2010 以降のお決まりごとです。Excel2010 以降のバージョンでは同じように表示し、この図は Excel2016 の場合になります)

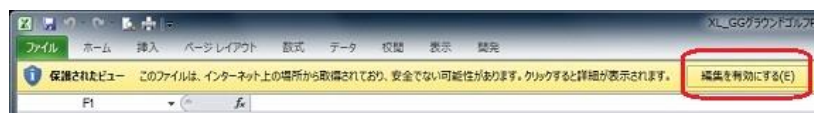


図 5 保護されたビュー

表示している赤枠の部分は「[保護ビュー 注意—インターネットから入手したファイルは、ウイルスに感染している可能性があります。編集する必要がなければ、保護ビューのままにしておくことをお勧めします。](#)」とあります。

<編集を有効にする>をクリックしないとインストールできないので押してください。電子メールに添付したファイルにマクロが含まれている場合、受信者がそのファイルを開くとこのようなメッセージを表示するのでご存知の方も多いと思います。

次項でもまたセキュリティの関係が表示します。



## (3) コンテンツの有効化

- 1) 「[図 6 コンテンツの有効化](#)」の図が表示します。

図 6 コンテンツの有効化

- 2) 同図の「コンテンツの有効化」ボタンをクリックしてください。

## (4) インストール

- 1) 既にお気づきと思いますが、ファイルを開いた場合は画面に注意書きがあります。

「注意！ 本プログラムは処理を終了後、自動的に Excel を閉じて Windows の画面に戻ります！他のブックを開いている場合はキャンセルして、すべてを閉じた上で再度開いてください。」

とあるとおり、複数のブックを開いている場合は事前に他のブックを閉じて本プログラムだけを開いてください。

2) 「図 7 インストール」の図が表示しています。

3) インストールされるフォルダは次になります。

「C:\Users\ユーザー名\AppData\Roaming\Microsoft\AddIns\」になります。

4) 「図 7 インストール」の図の<インストール>をクリックしてください。



図 7 インストール

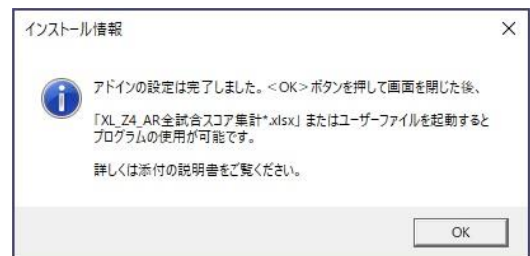


図 8 インストール完了

5) インストールが完了すると「図 8 インストール完了」の図が開くので<OK>を押すとすべて自動で閉じて Windows 画面に戻ります。

6) 操作説明は「4 「XL\_Z4 全試合スコア集計プログラム」の使用方法」で説明していますが、「XL\_Z4 全試合スコア集計プログラム.xlam」を開くと「図 13 全試合スコア集計タブ」の図のように表示して使用が可能になります。

7) 次にアンインストールの説明をします。

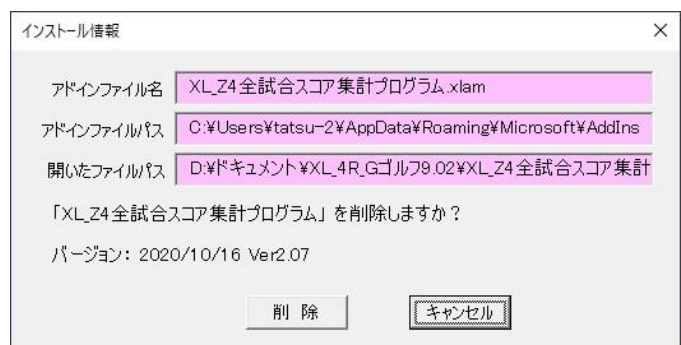


図 9 アンインストール

#### (5) アンインストール

1) 使用していた Excel ファイルを

すべて閉じ、次に「全試合 Z4 スコア集計インストール・アンインストール.xlsm」を開くと「XL\_Z4 全試合スコア集計プログラム.xlam」がインストール済みの場合は自動的に「図 9 アンインストール」の図が開きます。

2) 画面上の「注意！」書きの内容のように、他のファイルがすべて閉じられている場合は<削除>を押してください。

3) 「図 10 アンインストール完了」の図が表示して<OK>をクリックするとアンインストールが終了し Excel が自動的に閉じて Windows の画面に戻ります。

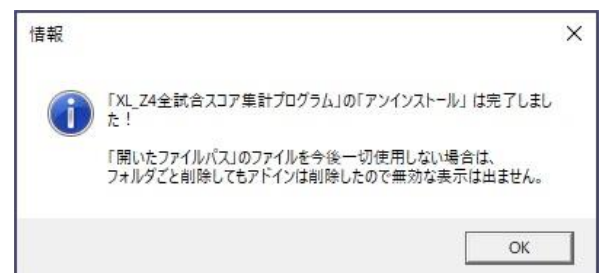


図 10 アンインストール完了

4) 「C:\Users\ユーザー名\AppData\Roaming\Microsoft\AddIns\」にインストールしてい

た「XL\_Z4 全試合スコア集計プログラム.xlam」はアンインストールした場合は自動で削除します。

#### (6) 新バージョンに更新する場合

- 1) バージョン Ver 5.03 以降の「XL\_Z4 全試合スコア集計プログラム」を使用していた場合は、更新版を保存したフォルダから Ver2.09 の「全試合 Z4 スコア集計インストール・アンインストール.xlsm」が使用できるので、「XL\_4R\_G ゴルフ 12.03」をフォルダごとドキュメント等に保存し、同フォルダ<XL\_Z4 全試合スコア集計 PG>から「全試合 Z4 スコア集計インストール・アンインストール.xlsm」により「(5) アンインストール」を実行して後、続けて「(4) インストール」をしてください。これ以降の説明では旧バージョンの Ver2.02 以前をご使用の場合の説明になるので Ver5.03 以降をご使用の場合は関係ありません。
- 2) 旧バージョンの Ver 2.02 以前をご使用の場合は以下をご覧ください。
- 3) 旧バージョンの Ver 2.02 以前の場合は、解凍したフォルダ内でアドインの有効化をしていました。Ver 3.00 バージョン以降のインストール先は「C:\Users\ユーザー名\AppData\Roaming\Microsoft\AddIns\」になるため異なります。
- 4) Ver 2.02 までのバージョンと違い、新バージョンを旧バージョンに上書きして使用するなどはできません。
- 5) 新バージョンからは必ず旧バージョンをアンインストールした上で新バージョンをインストールすることが原則です。
- 6) アンインストールの方法が Excel2010 と Excel2016 以降では異なる場合がありますので共通の操作方法で以下に記述します。

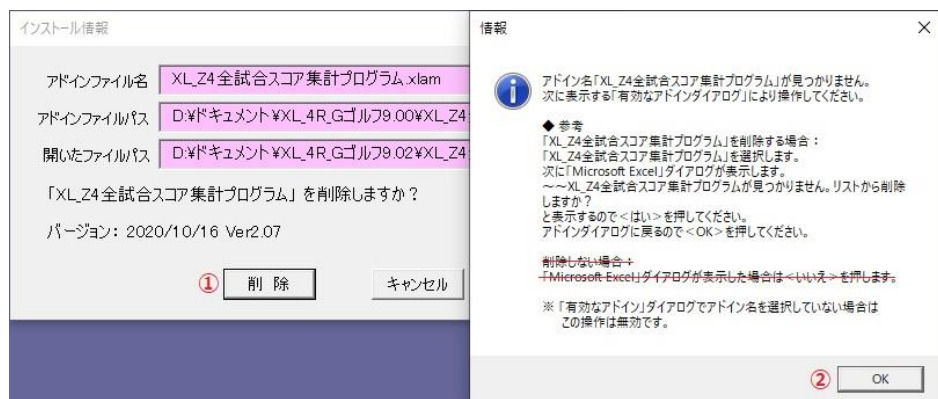


図 11 旧バージョンのアンインストール

- 7) 新しくダウンロードした<XL\_4R\_G ゴルフ 12.03>—<XL\_Z4 全試合スコア集計 PG>のフォルダ内から「全試合 Z4 スコア集計インストール・アンインストール.xlsm」を開くと自動的に「図 11 旧バージョンのアンインストール」の図の左側の図でタイトルバー「インストール情報」が開きます。
- 8) 同図①の<削除>をクリックすると同図②の右側の図が開きます。同図の下部の取り消し線が入った「削除しない場合:」は、ここでは実行しては困るので消しています。
- 9) 「図 12 XL\_Z4 全試合スコア集計削除」の図の「有効なアドイン」が開きます。

10) ⑤のキャンセルをクリックしてはいけません。「5 (1)Excel を開くたびにファイルが見つからないメッセージを表示する」になってしまい厄介です。

11) 同図の③の「XL\_Z4 全試合スコア集計プログラム」以外でチェックが入っている場合はすべてをチェック「OFF」にして一時的に無効化してください。この例では①と②をクリックしてチェック「OFF」にします。無効化とはアドインプログラムはインストールされているがチェック OFF にしているので Excel のメモリ上には読み込んでいなくて使用はできない状態です。



図 12 XL\_Z4 全試合スコア集計削除

12) 「図 12 XL\_Z4 全試合スコア集計削除」の図の③「XL\_Z4 全試合スコア集計プログラム」をクリックすると「XL\_Z4 全試合スコア集計プログラム」が消去します。順番が違って真っ先に③の「XL\_Z4 全試合スコア集計プログラム」をクリックした場合で残りのアドイン名にチェックが付いている場合は必ずクリックしてすべてチェック「OFF」にしてください。(チェックが付いていると次に Excel を開いた時に「5 (1)Excel を開くたびにファイルが見つからないメッセージを表示する」が表示して面倒です)

13) 「図 12 XL\_Z4 全試合スコア集計削除」の図の④<OK>をクリックします。

14) Excel を閉じて Windows の画面まで自動で戻ります。

15) 再度「Excel」を起動して白紙のブックを開き<Alt>-<t>-<i>の順にキーを押してください。「XL\_Z4 全試合スコア集計プログラム」は無いはずですが、もし残っていた場合は前「12)」項のチェックが残っていないかを確認し「5 (1)Excel を開くたびにファイルが見つからないメッセージを表示する」で説明の部分を参考に本項をもう一度確認の上で実行してください。

16) アドインの削除に成功した場合は前項「図 12 XL\_Z4 全試合スコア集計削除」で①、②である「XL\_Z4 全試合スコア集計プログラム」以外のアドインが有効化していた場合はチェック ON に戻し有効化してください。

17) 削除した「XL\_Z4 全試合スコア集計プログラム.xlam」はごみ箱に移動しています。

18) アンインストールが済んだ場合は、新バージョンのインストールになります。

19) <XL\_4R\_G ゴルフ 12.03>-<XL\_Z4 全試合スコア集計 PG>のフォルダ内から「全試合 Z4 スコア集計インストール・アンインストール.xlsm」を起動します。

20) 「(4)インストール」を実行してください。

21) 「XL\_Z4\_AR 全試合スコア集計 2014.xlsx」を開いて「バージョン情報」をクリックしてバージョン番号が「Ver5.03」になっているか確認してください。以上で終了です。



## 4 「XL\_Z4 全試合スコア集計プログラム」の使用法

### (1) ユーザー用のデータフォルダを作る

- 1) 「XL\_4R\_G ゴルフ Add-inPG」フォルダの「XL\_4R\_グラウンドゴルフ集計プログラム説明書」をご覧ください。
- 2) 同説明書の「3 (7) ユーザー用の試合集計用フォルダの作り方」の項に詳しく書いていますのでご覧ください。

### (2) 前項「(1)」の取り込みユーザー用の全スコア集計データファイルを作る

(この説明以外に後述の「(5)」の方法で、名前を変えて保存する方法でも構いません)

- 1) 「GG 同好会\_4R」フォルダの中のサンプルファイルを利用して「XL\_Z4\_AR 全試合スコア集計 2014. xlsx」を複写してユーザー用の全試合スコア集計データファイルを作ります。
- 2) 「XL\_Z4\_AR 全試合スコア集計 2014. xlsx」の上で右クリックしてコピー & 貼り付け (コピー) をしてください。
- 3) 「2)」できたファイルの「年号とーコピー」の文字列を変えてユーザー用の西暦年号に変更してください。先頭の「XL\_Z4」の文字列は必須項目ですので取り除いてはいけません。それより右のタイトルはと年号はユーザーの自由な変更が可能です。(ユーザー用として「AR」の文字を取り除いてもかまいません)
- 4) 以下では「XL\_Z4\_AR 全試合スコア集計 2014. xlsx」の操作説明をするので「3)」で作ったユーザー用の操作の参考にしてください。

### (3) 全試合スコア集計タブについて

- 1) 「GG 同好会\_4R」フォルダの「XL\_Z4\_AR 全試合スコア集計 2014. xlsx」を開きます。
- 2) 前記の「3 (4) インストール」のインストールが成功した場合は「図 13 全試合スコア集計タブ」の赤枠内の「全試合スコア集計」タブを表示します。この図の場合は「年間全データ」シートのアイコンを表示しています。



図 13 全試合スコア集計タブ

### (4) 全シートへ西暦タイトル記入

- 1) 印刷プレビューで確認すると全シートのヘッダに「2014年度グラウンドゴルフ成績表」と表示します。
- 2) 表を更新する場合、<全シートへ西暦タイトル記入>を選択すると「図 14 全シートへ西暦タイトル記入」を表示します。青い字幕で当年度を表示するので字幕の上から西暦を入力すると表示中の文字が消えて新しい西暦が入力できます。
- 3) <実行>を押すと西暦に“年度グラウンドゴルフ成績表”の文字を結合しヘッダに入力します。

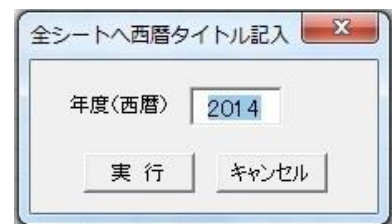


図 14 全シートへ西暦タイトル記入



参考：年度更新の場合は、この機能を実行しなくても次項で説明の「(5) 全シート表の初期化」を実行すると同じ西暦を入力する画面を表示して上記同様の西暦とタイトルを入力できます。



図 15 全シートの初期化

#### (5) 全シート表の初期化

初期化の目的は前記「(2)」のような「年次更新用」の場合や、配布の「XL\_Z4\_AR 全試合スコア集計 2014.xlsx」ファイルをユーザー用に初期化する場合でデータはプログラムが削除します。表を消したりしないで表示している状態のままで以下の操作をしてください。

- ※ 上記の「XL\_Z4\_AR 全試合スコア集計 2014.xlsx」のサンプルファイルを使用する場合で、1～3 月などから始める場合は「(5) 全シート表の初期化」図で現在の西暦－1 という形でデフォルト表示します。4 月に継続して使用する場合はその 1～3 月で作ったユーザー用ファイルを新しい年度に更新して使ってください。
- 1) 年間全データシートから「全シート表の初期化」をクリックします。
  - 2) 「氏名の列を残す」チェック「ON」は年度更新の場合でメンバーに変更がない場合です。
  - 3) メンバーに変更がある、または新規の場合はチェック「OFF」で名前を消去します。(以下の「(6) 氏名の取込」で名前を取り込みします)
  - 4) 「図 15 全シートの初期化」の図を表示します。データの年度を表示するので青い字幕の上から西暦を入力すると表示中の文字が消えて新しい文字列が入力できます。
  - 5) チェック「OFF」で氏名を削除した場合は次の「(6) 氏名の取込」を実行しないと氏名の取り込みができず、氏名の手入力をする「XL\_4R\_GG\_同好会\_2015 03 29.xlsx」などの試合集計用ファイルからデータを取り込む場合に文字列の不一致がでるためです。

#### (6) 氏名の取込

この機能は試合集計用の氏名を全シートに入力するための処理です。氏名の追加取り込みも可能です。この説明ではサンプルファイルの氏名を取り込みます。追加取り込み以外は必ず前項の「(5) 全シート表の初期化」を実行してから後に本処理をしてください。本項で氏名の取り込みをしていない場合はデータを取り込むことはできません。(「GG 同好会\_4R」フォルダの「XL\_4R\_GG\_同好会\_2015 03 29.xlsx」サンプルファイルなどからデータを取り込む場合は一致する氏名の行を検索して、その行にデータを取り込むためです。半角、全角、スペースなどの文字列が 1 文字違っても検索できません。その外、取り込む氏数の数が「年間全データ」シート側で取り込む「No」の数と氏名の列に空白が無いと「図 16 処理の失敗」の図を表示します。その場合「(28) 全シートの下部に用紙追加」を不足人数相当分だけ追加

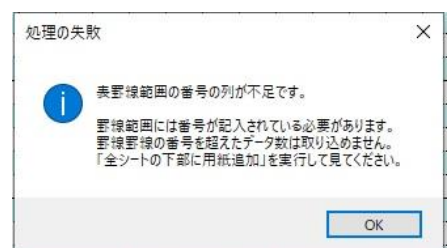


図 16 処理の失敗

してください。) 氏名の重複チェックはしません。この機能の操作方法は次のとおりです。

- 1) 年度更新などの場合でメンバーが変更の場合は「(5) 全シート表の初期化」をしてください。(年度途中での氏名の追加は「4 (30) 年度の途中で氏名を追加する場合」参照)

2) 年間全データシートから「氏名の取込」をクリックすると「ファイルを開く」ダイアログが開き「メンバー」フォルダの「同好会用メンバー30.xlsx」など各種メンバーファイルが表示するのでファイルを選択して「開く」をクリックします。

3) 「[図 17 Excel ファイルから氏名の取り込み](#)」を表示します。

4) 開くボタンを押して「GG 同好会\_4R」フォルダの「同好会用メンバー30.xlsx」ファイルを開くと「[図 18 氏名取り込みサンプル](#)」の図を表示するので同図の全氏名を取り込むには「I2:I31」の範囲をドラッグして「取り込み」ボタンを押してください。

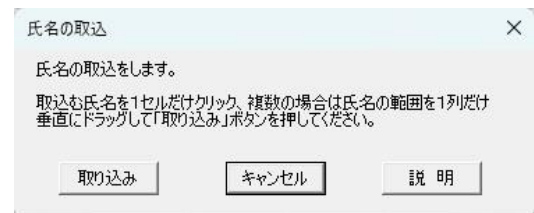


図 17 Excel ファイルから氏名の取り込み

5) 『「30」個のデータを各シートに取り込みました!』と表示します。

## (7) 全スコアデータ取り込み

この処理は普段は使う必要はありません。「XL\_Z4\_AR 全試合スコア集計\*.xlsx」などを壊したなど何かのトラブルによる理由ですべての日付の試合のデータを取り込み替える場合だけ使用します。

※参考1 「XL\_Z4\_AR 全試合スコア集計 2014.xlsx」の試合データは 69 日分の試合データが取り込まれており「GG 同好会全試合データ 2014」フォルダの中に現在試合データが 1 個だけしか保存していないため、この処理を実行すると 1 日分だけのデータになります。「全スコアデータ取り込み」を試した場合は 69 日分のデータを失うので上書き保存をしないでください。(ファイルサイズの関係で沢山のサンプルデータをご用意できませんので試して見る場合は表紙の URL からダウンロードしてください。)

H	I
ふりがな	氏名
あおきまりこ	青木 真理子
あさおかともひろ	浅岡 智宏
いしむねわかこ	石宗 和歌子
いとうのりえ	伊藤 紀江
うちやまえみこ	内山 恵美子
かねこよしみ	金子 芳美
かわおかひでお	川岡 秀雄
きたむらちづこ	北村 千鶴子
きむらもとこ	木村 素子
こいずみちあこ	小泉 智亜子
こばやししょうこ	小林 昭子
はまさきゆりこ	浜崎 百合子
ふじきまきこ	藤木 真紀子
へいやよしこ	平野 芳子
まつやまよしゆき	松山 義之
やすだゆき	安田 由紀
やまずみまさと	山住 政人
やまもとひでこ	山本 秀子
よしおかゆかり	吉岡 由加里

図 18 氏名取り込みサンプル

アイコンの「全スコアデータ取り込み」を選択するとサンプルの「GG 同好会全試合データ 2014」フォルダから「年間全データ」シートに年間の全試合のデータを取り込みます。

集計をする場合にはプログラムが既に取り込み済みのデータを削除した上で全試合データの「点数順集計表」シートに一個ずつ繰り返しアクセスして要求元の「年間全データ」シートに取り込んで集計をします。同年度でない場合は「(5)全シート表の初期化」、「(6)氏名の取込」などの操作を事前にしなければなりません。

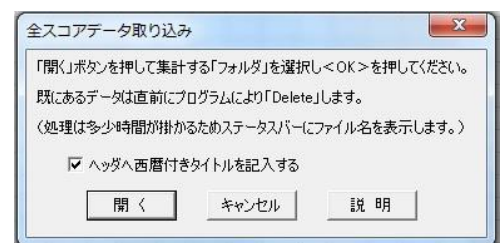


図 19 全スコア取り込

1) 年間全データシートから「全スコアデータ取り込み」をクリックすると「[図 19 全スコア取り込](#)」が開きます。

2) 「開く」ボタンを押して「(1)」で説明の「GG 同好会全試合データ 2014」フォルダを選

扱します。

(**注意！** この場合はファイルではなく**フォルダ**の選択ですから個別のファイルは見えません。この中には「XL\_4R\_GG\_同好会\_2015 03 29.xlsx」のような先頭にXL\_4Rの文字列が付いた年間の全競技用ファイルすべてが保存してあります。)

- 3) 同図の『ヘッダへ西暦付きタイトルを自動記入する』チェックが「ON」の場合は「点数順集計表」シートのセル「C2」の日付からすべてのシートのヘッダに「yyyy 年度グラウンドゴルフ成績表」の西暦付きタイトルを記入します。C2セルが2015/03/24などのように3月からプログラムを開始した場合、このタイトルは年度ですから2014の西暦となります。

- 4) 次に<OK>ボタンを押してください。

- 5) ステータスバー（「タスクバー」の上にあるバー）に取り込み中のファイル名を表示します。罫線設定などをするため多少時間が掛かりますので最後までお待ちください。（但し、試合数が少ないと早く見えません）

この処理では取り込むデータに同じ試合日の日付が誤って重複していた場合、同じ日付をダブル取り込みます。次の「(8)自動追加取り込み」「(9)選択取り込み」の取込処理は検索して取り込むので注意メッセージを表示します。ファイル名の末尾の日付はダブルでなくてもシート内の日付を間違えて既にある日付などに行っていた場合にダブルが生じます。

次の「(8)自動追加取り込み」「(9)選択取り込み」でダブルのエラーメッセージが出た場合は、日付は何日がダブルなのか分かっていてもスキップや上書きなので分かりにくい。ため日付のダブルが有った場合にはメモを取ってこの処理でデータを取り込んで日付を目で確認します。

- 6) 取込処理が完了すると『「××」日分のデータを取り込みました！』と表示します。（次項の「[参考3](#)」を参照）
- 7) 右端には「試合総合計（順位：1R平均）」を表示します。これらの集計の詳細説明は後述の「(21)「[試合総合計](#)」の順位の決め方と出席率などについて」や「(23)並べ替え」で説明しています。

**参考2：**「GG 同好会全試合データ 2014」フォルダのような競技用ファイルだけが格納されているフォルダには他のデータファイルや集計と関係ないデータを入れると一緒に取り込んでエラーになるため専用のフォルダとしてください。（配布時から入れているフォルダ以外のことです）

**参考3：** 行の最下部で欄外に取り込んだ場合、例えば添付のサンプル「XL\_4R\_GG\_同好会\_2015 03 29.xlsx」を「年間全データ」シートに取り込んだ場合で、「年間全データ」シートに前出しの試合データの一部のプレーヤーの「氏名」が無い場合は「[図 20 氏名不一致でエラー](#)」を表示し下方の欄外に氏名と成績を表示します。この場合欄外の40行以上を行削除するかチームに繰り入れて氏名を登録して欄外に入らないようにしないと印刷する場合にプレビューウィンドウに収まらないためにうまく印刷できません。「注意」の報告であり、表示し成績には関係ありません。40行以上の行を残した場合で

も、ほかの日の「(9)選択取り込み」などでエラーは出ません) 一般には同好会以外の臨時プレーヤーなどは「XL\_4R\_GG\_同好会\_2015 03 29.xlsx」側で打数入力しないようにすることです。

#### (8) 自動追加取り込み

前記「(7)全スコアデータ取り込み」の項と同様に「年間全データ」シートにプレーをしたすべてのデータを取り込みます。

操作は前項と同様に「(1)」で説明の「GG 同好会全試合データ 2014」フォルダを選択してください。(「自動追加取り込み」の場合はファイルではなくフォルダを選択です)

本処理では試合日が多くなった場合に表から漏れている試合日が有る場合に使用する目的です。しかし、その場合でも前項の「(7)全スコアデータ取り込み」と取り込みと時間的には変わらないので同項を実行すれば良いためにあまり使うことが無いかも知れません。本処理では既に「(7)全スコアデータ取り込み」により取り込み済の場合でその後、取り込み元のフォルダ内のデータ(添付ファイルの「GG 同好会全試合データ 2014」フォルダの中のデータ)の一部を手動で削除して取り込み済みの前記「年間全データ」シートの日付数よりフォルダ内のファイル数が少なくなっている場合は「年間全データ」シート側のデータは手動で削除しないでください。このような場合は「(7)全スコアデータ取り込み」を実行すると表を自動で全削除して取り込みます。(手動で「XL\_Z4\_AR 全試合スコア集計 2014.xlsx」の列を削除しないでください)

#### (9) 選択取り込み

この機能は次で説明の「(10)」と共に毎試合ごと良く使用する機能になります。「選択取り込み」を使用すると個別にファイルを選択して取り込むことができるので1個の取り込み処理時間が短くなります。操作は前項同様ですが、違うのは「(1)」で説明の「GG 同好会全試合データ 2014」フォルダから「XL\_4R\_GG\_同好会\_2015 03 29.xlsx」の試合データファイルを選択します。その場合に Shift や Ctrl キーを使用してファイルを複数選択しての取り込みもできます。

この機能の主な目的は毎試合ごとに集計しているので最終試合日の1日を選択して取り込むことです。フォルダ内のファイルを選択する場合で既に取り込み済みのデータを選択して<OK>を押した場合は「この日付データは取り込み済です。修正のため取り込みますか?」と通知して<はい>、<いいえ>、<キャンセル>などを選択できます。

#### 2015 03 29 のデータを取り込む説明：

2015/03/29 だけデータが取り込んでいないので取り込みをしてみます。

「XL\_Z4\_AR 全試合スコア集計 2014.xlsx」を開き「選択取り込み」を選択して「図 21 選択スコア追加取込」を表示して「GG 同好会\_4R」フォルダの「GG 同好会全試合データ 2014」フォルダの中の「XL\_4R\_GG\_同好会\_2015 03 29.xlsx」を選択し<OK>をクリックしてください。

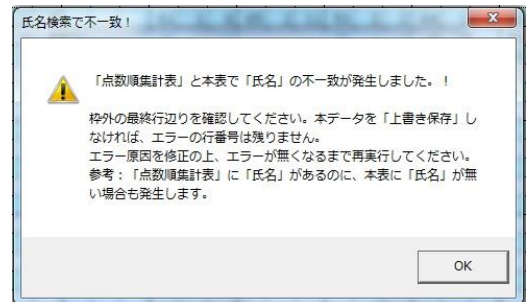


図 20 氏名不一致でエラー



「年間全データ」シートの最右端に「3/29」のデータを取り込み、その右に「試合総合計」を表示します。この取り込んだデータは次項の「(10)シートへ一括転送」により各シートに転送できます。以下は参考事項です。

3/26 までの 1 年間に 15 名しかプレーしていませんが、3/29 日だけ 30 人のプレーヤー

が試合をしているため 30 名の氏名が登録してあります。このようにいくら最後の日でも全員の氏名を追加しないとデータが取り込みできません。「参考 3」で記述したように同好会以外の臨時のプレーヤーはスコアシートには記入しても「XL\_4R\_GG\_同好会\_2015 03 29. xlsx」などの同好会試合集計表には入力しないことです。

「図 22 データ取込中に日付重複が発生」は 8/22 の日付がタブっていた場合の例です。実際にはファイル名は「XL\_4R\_××同好会 2015 07 22. xlsx」ですが、ファイルを開くと各シートの日付が 8/22 になっており実際のファイル名「XL\_4R\_××同好会 2015 08 22. xlsx」を開いた時の日付と同じになってダブリを生じています。このようなことにならないように日付を正しくつければ問題は起きません。前述したように本処理取込中に万一日付ダブリが発生した場合はメッセージの日付をメモして置き、「(7)全スコアデータ取り込み」の項で一括取り込みをして見ればダブリが出てきます。

#### (10) シートへ一括転送

前項「(7)全スコアデータ取り込み」、「(8)自動追加取り込み」、「(9)選択取り込み」を実行して試合データを取り込んだ場合は続けて<シート

へ一括転送>を実行してください。本機能は以下の「(11)」～「(16)」までの操作を省略して一括処理ができ同好会の試合場で掲示する「年間・月間」シートや「上期・下期」シートなどの成績順位を計算できます。

この機能は前記「(9)選択取り込み」と共に通常よく使用する処理で通常試合会場で掲載するのは、別の「XL\_4R\_グラウンドゴルフ集計プログラム説明書」で記載した「点数順位集計表」シートと、この機能による処理によってできる「年間・月間」シートを印刷して掲載するだけで良いと思います。(試合日が下期に入ると「上期・下期」も掲載します)

この処理は多少時間が掛かり処理状況をステータスバーに表示します。

- 1) 以下の「(11)」～「(16)」の機能である操作を個々に実行するのが面倒なので「年間全データ」シートでこの処理を実行すると一括処理できます。
- 2) この場合、「図 23 スコアデータを各シートへ一括転送」図の「月」、「週」、「四半期」、

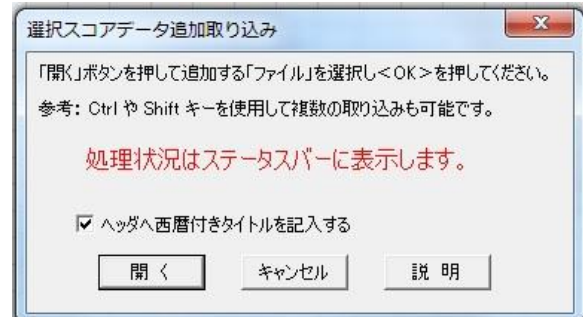


図 21 選択スコア追加取込

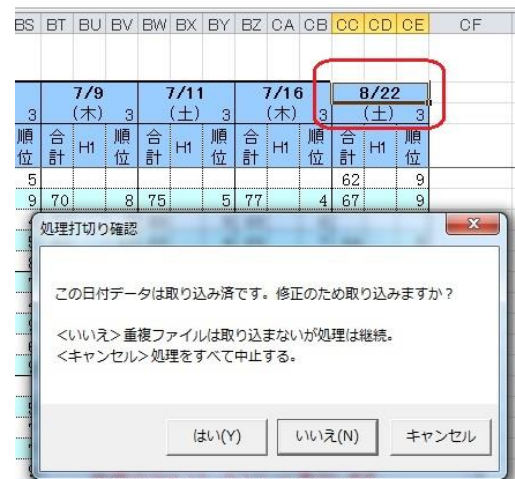


図 22 データ取込中に日付重複が発生

「半期データ」は「年間全データ」シートの最終試合日を同図のように「デフォルト値」で表示し、変更は可能ですが次の項以降の説明で個別のシートからでも変更できます。

#### (11) 年間合計印刷データ

このシートの目的はプレーの日付が多くなった場合に新しい日付側から 8 日分を表示して残りの列は非表示にして掲示用の印刷物を A4 1 枚で公開するためです。それ以前は前回公開したわけですから毎回全部を印刷して公開はしないと言うことです。

1) 「年間合計印刷」シートに切り替えて「年間合計印刷」をクリックすると『「年間合計印刷データ取り込み」を実行します。』と確認メッセージを表示します。

2) <OK> ボタンを押すと「年間全データ」シートからデータを取り込み表示します。

3) 右側末尾の「試合総合計」は 4 月からの全試合分を表示します。

4) 「年間合計印刷」シートに取り込んだ場合は「年間・月間」シートの左側に年間合計である「試合総合計」の列を転送します。

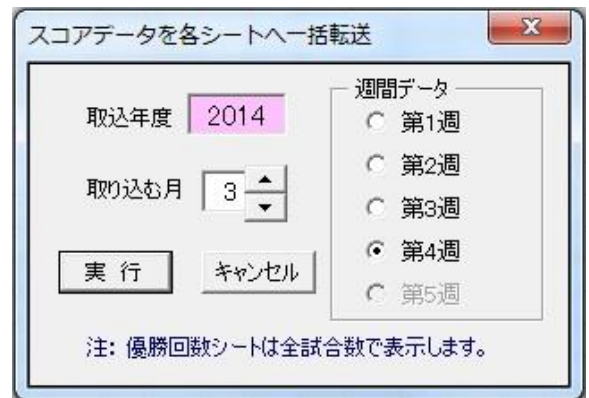


図 23 スコアデータを各シートへ一括転送

#### (12) 週間データ

このシートの目的は 1 週間だけの集計をします。(第 1 週、第 2 週など「第」が付く場合はその月の 1 日が始まった曜日から 7 日間が第 1 週です)

週で指定するには 1～7、8～14、15～21、22～28、29～31 日の間で試合を集計する週のコマンドボタンを ON にして<取り込み>ボタンを押します。「年間全データ」シートにプレーが無い週はコマンドボタンが影の表示になり選択できませんが、「<」で月を戻り「12 月」、「1 月」にすると分かり易いと思います。その場合「>」は月を進めます。但し、一年度単位のカレンダーで 2 ヶ月分の試合を表示し、右側に最新プレーを表示して左が古い試合なります。このため年度当初の 4 月が最新プレーですから右に表示、左は試合がまだ無いため翌年(同年度)の 3 月を表示します。

1) 「週間データ」シートに切り替えて<週間データ>を実行すると「図 24 週間データの取り込」を表示します。



図 24 週間データの取り込

2) 「年間全データ」シートにプレーをした日付が載っている日は赤色で表示します。

3) 同図では 3 週目の 3 月の 15 日～21 日の間に 1 回プレーをしているためこの週をクリックして黒丸を付け、<取り込み>ボタンを押すと「週間データ」シートに 3/21、だけの試合を表示し、右側末尾の「試合総合計」にはこの間の成績を表示します。

4) このカレンダーを開いたときは最終プレーをした月を表示し、最終試合の週が黒丸にな



るので必要に応じコマンドボタンを選択してください。「<」、「>」ボタンを押すことで「月」を変えて表示することができます。

- 5) 西暦の左側のボックスに手入力で 1900～2999 の年度で西暦を入れるとその年の何月でも表示できます。遊び心で生誕の曜日を調べるなどを試してみてください。

### (13) 月間データ

このシートの目的は文字どおり「月間」データの取り込みです。

- 1) 「月間データ」シートに移動して<月間データ>を実行すると「[図 25 月間データ取り込み](#)」を表示します。
- 2) 「取り込む月」スピンの数字を変えると同月のデータを「年間全データ」シートから取り込んで「試合総合計」を表示します。
- 3) 全データシートの西暦には「年間全データ」シートの先頭の日付、つまり「C2」セルの日付から西暦を読み取ります。
- 4) 「月間データ」シートに取り込んだ場合は「年間・月間」シートの右側に月間合計である「試合総合計」の列を転送します。

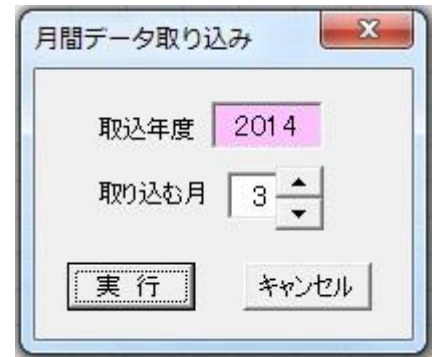


図 25 月間データ取り込み

### (14) 四半期データ

このシートの目的も文字どおり「四半期」データになります。

- 1) 「四半期データ」シートに移動して<四半期データ>を実行すると「[図 26 四半期データの取り込み](#)」を表示します。
- 2) 表示のコマンドボタンを押すと該当の四半期データを取り込みその試合期間の「試合総合計」を表示します。

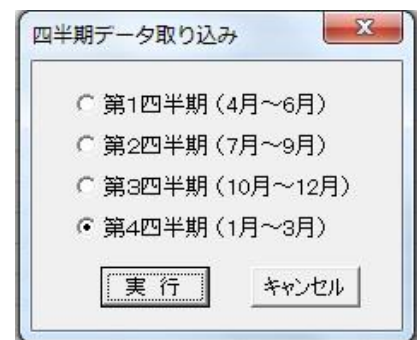


図 26 四半期データの取り込み

### (15) 半期データ

「上期・下期」シートにデータの集計結果を分類して表示します。

- 1) このシートの目的は下期になって機能します。つまり 4 月～9 月までは「年間・月間」シートに表示する「年間データ」＝「上期」分ですから不要です。しかし下期になると「上期・下期」シートのように、上期と下期を分けて表示しないと成績順位の変化がわかりません。当初はこのシートが無かったのですが、不便なのでこのシートを作り機能アップしました。

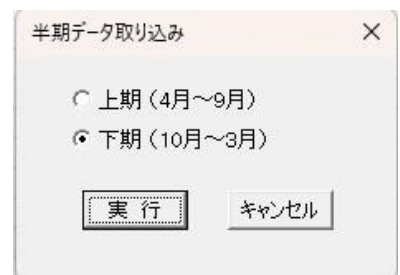


図 27 半期データ取り込み

- 2) 「年間データ」シートから下期の時期に「シート一括転送」を実行した場合は「半期」分だけを表示するシートですから上期のデータは当然表示せず、下期のデータを 10 月から表示します。上期を見る場合は同シートでリボンのメニューから「半期データ」を

押して「図 27 半期データ取り込み」の図を表示して「上期（4月～9月）」を押すと黒丸になるので「実行」ボタンを押してください。上期のデータをシートに表示します。

#### (16) 優勝回数データ

このシートでは年間の「優勝回数」、「準優勝」、「第三位」の回数を多い順に表示します。

- 1) 「優勝回数データ」シートに移動して＜優勝回数データ＞を実行すると「優勝回数データ取り込み」を実行します。」を表示します。
- 2) 「よろしいですか？」と表示するので＜OK＞を押すと「年間全データ」シートよりデータを取り込み、試合期間の上記の順位を表示します。

#### (17) 「年間・月間」シート

「年間・月間」シートではリボンの「印刷」アイコンを押して**プレーをした次の試合日などに A4 版で印刷して掲示するためのシートです**。前記「(11)4」と「(13)4」で記述していますが、「年間合計印刷」シートや「月間」シートの「試合総合計」をそのまま表示するので本シートの掲載に当たっては必ず「(10)シートへ一括転送」または「(11)年間合計印刷データ」と「(13)月間データ」の双方を実行する必要があります。一般には前出しの「(10)シートへ一括転送」が一回で一括処理をするので簡単です。

このシート右側の「月間」成績については月が替わって第一回目の試合では詳細な順位はわかりませんが、「(21)1」の項では「**点数順集計表**」を掲載とあり、その表で順位の詳細な決定がわかります。

「点数順集計表」シートでは「合計が、同点である場合は「H1」←「2打」←「3打」の矢印の方向の打数の回数が多い方が、順位が上位（3打より2打、1打が多い方が上位）であるよう集計します。このことから「年間全データ」シートにH1はありますが2打、3打の打数が本表には無いため同順位になった場合は「**点数順集計表**」が順位を細かく分けられるからです。同じ月の第二回目からは本表の「月間」成績表が機能してきます。

「J1」セルの「出席率：XX%」は後述する「(22)基準出席率設定」の項で＜基準出席率設定＞を実行した場合だけ自動入力します。

#### (18) 「上期・下期」シート

「(15)半期データ」の項で説明のように「半期データ」シートで集計した成績データを「上期」と「下期」に分けて表示します。下期においては試合場に「(17)「年間・月間」シート」と共に掲示するとプレーヤーに喜ばれます。

#### (19) ラウンド平均表示値

このプログラムでは「図 28 ラウンド平均値の変更」図で表示のように 1R～4 ラウンドまでの集計できます。

一般には「3R」か「4R」の試合になりますが、以下の「(21)「試合総合計」の順位の決め方と出席率などについて」で説明の順位は

試合総合計(順位: 1R平均)					試合RUD数	
合計	H1	3R 平均	1R 平均	順位	出席 日数	出席 率
2824	37	59.7	19.89	1	48	70

図 28 ラウンド平均値の変更

1R の平均値により順位を決定します。しかし「1R 平均値」だけでなく総試合数の平均値が知りたくなります。

このため通常試合する試合数が「3R」または「4R」の何れか多い方に、優勝回数シート以外はどのシートからでも<ラウンド平均表示値>をクリックして「図 28 ラウンド平均値の変更」を表示して任意に変更できます。既に集計が済んで上書き保存が済んだ後などでは再度「上書き保存」しなければ何度変えて見ても問題ないのでいろいろ切り替えて見てもかまいません。

## (20) 総合計再計算

既に取り込んだデータを再度計算する場合に使用します。計算を自動化させたのでプログラムを作る上でのデバッグ以外にはあまり使うことはないと思います。「試合総合計順位」の詳しいことは以下の「(21)」の項で説明しています。

## (21) 「試合総合計」の順位の決め方と出席率などについて

### 1) 各シートの試合総合計にある順位について説明します。

順位の決定は第 1 順位「1R 平均」が少ない方が上位。同点の場合「H1」多いことが第 2 順位、「出席率」第 3 順位でプログラム処理のランク付けをして成績が良い方を上位に並べ替えられます。各日付の順位については添付の「GG 同好会全試合データ 2014」フォルダ内の「XL\_4R\_GG\_同好会\_2015\_03\_29.xlsx」などの競技用ファイル側で H1、2 打、3 打の多い順でランク付けしますが、本プログラム「XL\_Z4\_AR 全試合スコア集計 2014.xlsx」には用紙サイズの関係で「年間全データ」シートに 2 打、3 打のデータを設けると印刷時の用紙サイズが収まらないこと、または文字が小さくなり過ぎるなどで 2 打、3 打のデータを取り込みません。H1 だけは取り込むので、これらを基に集計をします。(何度も記述しましたが、前出しの「(1)」や「(17)「年間・月間」シート」の項で記載しましたが、当日の試合データは「XL\_4R\_GG\_同好会\_2015\_03\_29.xlsx」の中の「点数順集計表」を掲載するので掲載時はそちらを見ます。試合数が多くなってくると「XL\_Z4\_AR 全試合スコア集計 2014.xlsx」の「年間・月間」成績順位の重複は問題なくなります。成績結果を掲載した場合等で、プレイヤーの質問にはそのように答えてください。)

### 2) 順位を決める場合、プレイヤーの出席が 1 回で得点が高得点を出して以後出席していないなどの場合は他のプレイヤーに不公平なため一定の出席率以上である場合に順位に載せるためです。優勝回数以外の各月シートの「F1」セルには初期値を 50 として設定してあります。運用に合わせて次項の「(22) 基準出席率設定」の項でこれらのセルに数値を設定することで出席率を考慮した順位が変えられます。「F1」セルの数値を一時的に変えて見るまたは Delete して空白にして<総合計再計算>を実行すると出席率の悪いプレイヤーも順位の中に組み入れられ「試合総合計順位」が調べられます。(集計後上書き保存が済んで試すなら良いのですが、それ以外は必ず元に戻して置かないと「(17)「年間・月間」シート」の「J1」セルと結果が違ふことになります。)

### 3) このプログラムでは急な雨やその他の事情で止む無くプレーを 1R、または「2R」、「3R」で打ち切った場合の集計が可能です。「XL\_4R\_GG\_同好会\_2015\_03\_29.xlsx」の場合「年

間全データ」シートのセル「E3」、「H3」・・・「HA3」はその日の試合のラウンド数です。  
これらの数値をカウントした「HG3」セルは試合日数、「HH3」セルは試合の総ラウンド数になります。

## (22) 基準出席率設定

前項により並べ替えをする場合は優勝回数以外のシートでは「F1」セルの「基準出席率」を基に計算し設定した数値に満たない場合は順位から外して表示します。

- 1) 年間全データシートから「基準出席率設定」をクリックすると「図 29 出席率の設定」が開きます。
- 2) 「出席率」ボックスに数値を入力して「設定」を押すと優勝回数を除くシートの「F1」セルに出席率が入力され出席率を考慮した並べ替えを各シートに実行します。処理は多少時間が掛かります。処理状況をステータスバーに表示します。

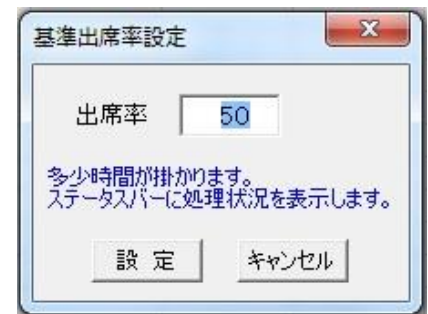


図 29 出席率の設定

## (23) 並べ替え

＜並べ替え＞を選択した場合の図は「図 30 並べ替え」の図のように表示します。並べ替えをした場合は、シート右端の試合総合計の欄に「試合総合計欄「図 28 ラウンド平均値の変更」図の赤枠の直上に括弧で囲んだように「順位：1R 平均」のように目的別に並べ替えた結果のタイトルを表示します。以下の並べ替えでは優勝回数以外の各シートの「F1」セルの「基準出席率」を元に並べ替えをするためこの値未満の場合は順位外になります。会場で公表時に見易くするため並べ替えをした場合、「氏名」と「試合総合計」スクロールで隣接させています。戻すには水平スクロールバーで戻してください。尚、並べ替えはすべて試合集計を済ませて直ぐに上書き保存してその後で並べ替えると並べ替えを戻す作業をすることなくファイルを閉じることが出来ます。

**並べ替えの種類：**（並べ替えは各シートで実行可能です。）

- 1) 「全シート番号順に並べ替え」：すべてのシートを番号順に並べ替えします。

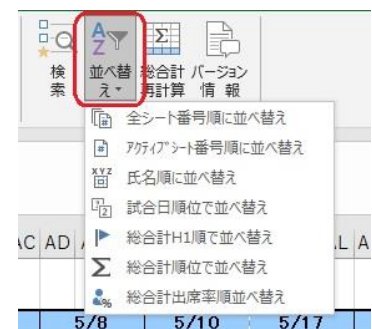


図 30 並べ替え

※ 以下は個別のシート内での処理です。

- 2) 「アクティブシート番号順に並べ替え」：番号順に並べ替えします。
- 3) 「氏名順に並べ替え(C)」：氏名の順に並べ替えします。
- 4) 「試合日順で並べ替え」：日付をクリックしてこの機能を選択すると選択した日付の列だけを最右端の「試合総合計」の項目で「順位」の列を番号順に並べ替えて表示します。  
「年間・月間」シートはこの機能は無視してデータは元の表示のままで反映しません。
- 5) 「総合計 H1 順で並べ替え」：ホールインワンの順で並べ替えします。
- 6) 「総合計順位で並べ替え」：順位の順に並べ替えします。
- 7) 「総合計出席率で順並べ替え」：出席率の順で並べ替えをします。

## (24) 印刷プレビューの余白マージン等の設定について



この設定は表示している各シートを印刷する場合、それぞれのシートの設定についての説明です。「年間全データ」「四半期データ」「半期データ」シートは試合数が変化するため横幅が一定ではないため日付数の増減に対する印刷幅（印刷プレビュー）を自動で調整する目的です。しかしパソコンとプリンタによって多少印刷余白の設定が変わってしまうために印刷が頁内収まらない場合は、ユーザーの機器に合うように一度だけクイックアクセスツールバーの「印刷プレビューと印刷」をクリックして調整する必要があります。（「印刷プレビューと印刷」が表示しない場合はクイックアクセスツールバーのドロップダウンリストボタンをクリックし「印刷プレビューと印刷」にチェックマークしてください）

ただし、競技の参加者には試合結果を「年間・月間」シートだけ毎試合競技場で掲示すれば他のシートは掲載を省略してもまったく問題ないのではと思います。他のシートは年度末、その他の親睦会などのイベントの際に、優勝回数などを、PCを見ながら発表するのに利用すれば良いのではないのでしょうか。（「上期・下期」シートは下期で掲載します）

したがって「年間・月間」と「上期・下期」シートだけを設定するだけで良い場合もあるでしょう。とは言っても説明書ですからすべてのシートの印刷方法を以下に記述しておきます。この設定はサンプルの「XL\_Z4\_AR 全試合スコア集計 2014. xlsx」を例に説明しますが、実際にはこのファイルに設定しないで「XL\_4R グラウンドゴルフ集計プログラム説明書\*.＊」で説明のトップのフォルダをユーザー用の「元気 GG 同好会」などに設定した配下の「全試合スコア集計」フォルダ内にある「XL\_Z4\_AR 全試合スコア集計 2014. xlsx」で設定をしてください。

シートについて説明すると「年間全データ」シートは試合をしたすべての日付データが入り、全シートの参照基となるシートです。

「年間合計印刷」シートでは「年間全データ」シートから取り込み時に末尾に 8 日間より前のプレーの日付を非表示にして A4、1 枚の印刷で掲載できます。設定は「年間全データ」「四半期データ」と「上期・下期」は年度初めには日付が 8 日以内ですが試合数が多くなると 9 日以上になってきます。

「年間合計印刷」「週間データ」「月間データ」シートは日付が 8 日以内で固定です。

「優勝回数」シートの日付は試合日ごとに増加しますが、セル幅はすべてが同じ値です。分類すると「8 日以内」、「9 日以上」、「優勝回数」、「年間・月間」の 4 種類の設定に分類されます。「印刷プレビューと印刷」を表示すると各シートでページ数が違います。このため各シートの日付の数に合わせて「印刷プレビューの設定」が変わって表示し、その区分は「[図 31 プレビューの設定](#)」の図の赤丸の番号を参照しながら以下の説明をご覧ください。

プレビューの設定 ①	プレビューの設定 ②	プレビューの設定 ③	プレビューの設定 ④
プレビュー-1頁目は全て日付データの場合の設定	プレビュー-1頁目に合計が収まる場合の設定	プレビュー-優勝回数の設定	プレビュー-年間・月間の設定
上部余白: 2.2	上部余白: 2.2	上部余白: 2.2	上部余白: 0.8
ヘッダー: 1	ヘッダー: 1	ヘッダー: 1	ヘッダー: 0.4
左側余白: 1.3	左側余白: 0.6	左側余白: 1	左側余白: 0.9
右側余白: 1.2	右側余白: 0.5	右側余白: 0.9	右側余白: 0.9
下部余白: 1	下部余白: 1	下部余白: 1.6	下部余白: 1
フッター: 0.4	フッター: 0.4	フッター: 0.4	フッター: 0.4
拡大/縮小: 93	拡大/縮小: 93	拡大/縮小: 93	拡大/縮小: 100
全Sh設定	全Sh設定	全Sh設定	全Sh設定
取り込み	設定保存	キャンセル	取り込み
設定保存	キャンセル	設定保存	設定保存
キャンセル	キャンセル	キャンセル	キャンセル

図 31 プレビューの設定

### 「年間全データ」「四半期データ」「半期データ」シートの場合

- 1) プレーの日付が9日以上になった場合
  - a. <印刷プレビュー設定>をクリックします。
  - b. ①の「プレビュー\_1 頁目が全て日付データの場合の設定」ダイアログが表示します。
- 2) プレーの日付が8日以内の場合
  - a. <印刷プレビュー設定>をクリックします。
  - b. ②の「プレビュー\_1 頁目が全て日付データの場合の設定」ダイアログが表示します。

### 「年間合計印刷」「週間データ」「月間データ」シートの場合

- 1) 日付が8日以内に固定です。
  - a. <印刷プレビュー設定>をクリックします。
  - b. ②の「プレビュー\_1 頁目に合計が収まる場合の設定」ダイアログが表示します。

### 「優勝回数」シートの場合

- 1) 日付の列と合計の列も幅が一定なので日付の数には関係なく簡単な設定です。
  - a. <印刷プレビュー設定>をクリックします。
  - b. ③の「プレビュー\_優勝回数の設定」ダイアログが表示します。

### 「年間・月間」「上期・下期」シートの場合：

- 1) デフォルトではズーム値を100として設定しています。『「年間・月間」シートだけ毎試合競技場で掲示』と記述していますが、重要なシートですからできるだけズーム値を大きくして見易くなるように「印刷プレビューと印刷」の「拡大/縮小」、「余白」を調整して設定した後 Excel の「上書保存」をする必要があります。
  - a. <印刷プレビュー設定>をクリックします。
  - b. ④の「プレビュー\_年間・月間」ダイアログが表示します。

### 「印刷プレビュー」の設定値の保存・取り込み

- 1) 上記で「図 31 プレビューの設定」の図を表示する説明をしたのでダイアログの機能の説明をします。
- 2) 同図の①、②、③、④の図のテキストボックスの数値は Excel のクイックアクセスツールバーの<印刷プレビューと印刷>—<ページ設定>—<余白>タブの設定値で、「拡大/縮小」は「ページ」タブの「拡大/縮小」コマンドボタンに表示の設定値です。

「取り込み」ボタン： ¥全試合スコア集計¥Set\_AllPlayScore\_Preview フォルダ内のデータ設定値を読み込んで「プレビュー」に表示、Excel の「印刷プレビュー」に設定します。印刷プレビューに収まらない場合は先ずこの「取り込み」ボタンを押してみてください。Excel の<ファイル>—<上書保存>をしないかぎり Excel を終了すると次に開いた場合に消えてしまいます。

「設定保存」ボタン： 「印刷プレビュー」で設定した値を「図 31 プレビューの設定」の図の「プレビュー設定」のテキストボックスに表示してその値を¥全試合スコア集計¥Set\_AllPlayScore\_Preview フォルダ内のファイルに保存するボタンです。

「全 SH 設定」ボタン： 「プレビュー設定」のテキストボックスに表示した値を全シートに設定します。設定には若干時間が掛かりますが、ステータスバー（タスクバーの



上に表示) に処理中のシート名を表示します。

「キャンセルボタン」: 一旦「設定保存」した場合はその値をキャンセルするわけではなく、ダイアログボックスを閉じるだけです。

上記「取り込み」～「全 SH 設定」のボタンの上をポイントするとボタンの機能説明が表示します。

### 「印刷プレビュー」の設定方法

前記「[設定はサンプル](#)」の波線部分で説明のようにユーザー用ファイルに保存してください。「全試合スコア集計」フォルダ内の「Set\_AllPlayScore\_Preview」が正しいフォルダ構成で設定してあることを確認してください。

- 1) 「年間全データ」シートの場合は「印刷プレビュー」を選択して「[図 31 プレビューの設定](#)」の図を表示して「全 Sh 設定」ボタンを押すと各シートに印刷マージンを自動で設定します。
- 2) 各シートでクイックアクセスツールバーの「印刷プレビューと印刷」を表示してプレビューが正しく表示するか確認し Excel の<ファイル>-<上書き保存>を押してください。
- 3) 上記の設定で駄目な場合は、「XL\_Z4\_AR 全試合スコア集計 2014.xlsx」を開き「年間全データ」シートを表示して Excel のクイックアクセスツールバーの「印刷プレビューと印刷」を表示すると 11 日間の日付が表示しているはずです。
- 4) 次に右下に 2 個あるボタンの左側で「余白の表示」ボタンをクリックして範囲に収まっているか確認してください。
- 5) 範囲に入っていない場合は同画面で<ページ設定>-<ページ>タブ-「印刷拡大縮小」-<拡大/縮小(A)>が「93」%、「月間・年間」シートは「100」%になっているかを確認してください。
- 6) 10% 前後の範囲を変えるだけで設定でき殆どの場合、余白は調整しなくても良いと思います。(Excel のデータシートのバージョンのせいなのか「拡大/縮小」に 10%ぐらいの差があることを実感しています)

### プレビューの設定ダイアログの操作説明

- 1) 「[図 31 プレビューの設定](#)」の図で<取り込み>ボタンを押すと¥全試合スコア集計¥Set\_AllPlayScore\_Preview フォルダ内のデータ設定値を読み込んで「プレビュー」に表示、Excel の「印刷プレビュー」に設定するのでクイックアクセスツールバーの「印刷プレビューと印刷」を表示して見るとわかります。Excel の「上書き保存」をしない場合は次にファイルを開いた場合に設定値を反映しないことは前述したとおりです。
- 2) 次に前記「1)」～「6)」項を実施して見てください。
- 3) どうしても収まらない場合は「印刷プレビューと印刷」の「拡大/縮小」、「余白」を調整しなければなりません。
- 4) 調整ができた場合は「上書き保存」をするのですが、全シートが完全に設定できた場合の方が良いと思います。「[図 31 プレビューの設定](#)」の図の「設定保存」ボタンを押す操作についても失敗した時のことから前出しのように「[図 31 プレビューの設定](#)」の

①、②、③、④のすべてが完全に設定できてから「設定保存」ボタンを押して

¥全試合スコア集計¥Set\_AllPlayScore\_Preview フォルダ内のデータに設定保存をする方が良いと思います。この場合も Excel の「上書保存」をしない場合は次にファイルを開いた場合に設定値を反映しません。

- 5) 次は「年間合計印刷」シートで調整し「年間・月間」シートのプレビューが正しく表示するか確認し次に「優勝回数」を設定するという手順が良いと思います。

## (25) 検索

「氏名」について検索をする場合に使用します。

<検索>を選択すると「[図 32 氏名の検索](#)」ダイアログボックスを表示します。

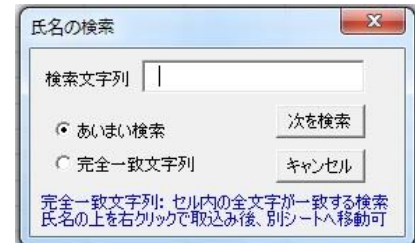


図 32 氏名の検索

- 1) **検索文字列ボックス**： 検索をする氏名を入力します。この場合「検索文字列」ボックスに手で入力することは勿論できますが、半角、全角、スペースなど文字列の正確な入力するために氏名文字列の上で右クリックするとその氏名を「検索文字列」に取り込むことができます。
- 2) **あいまい検索**： セル内の文字列の内一部だけを検索する場合にクリックします。例えば氏名の中で姓だけを検索する場合に使用します。
- 3) **完全一致文字列**： 上記に対し「姓」、「名」などを検索する場合に使用します。
- 4) **次を検索ボタン**： 複数の同じ文字列を検索する場合は次々に押して検索します。（ボタンを押す場合には少し間を開けてください）

## (26) 表罫線の再設定

罫線を壊した場合、表示しているシートの罫線だけを設定します。

この機能は何時実行しても構いません。行の高さ、列幅などは設定しません。このような時は直ぐに「元に戻す」などを利用しこれらの設定を壊さないように気を付けてください。

## (27) 字幕付け

表示しているシートに 1 行間隔で薄緑色の字幕を付け直します。カラーが破壊した場合に何時でも実行できます。この機能はいつ実行しても構いません。

## (28) 全シートの下部に用紙追加

氏名を記入する欄が不足する場合に使用します。1 頁あたり 35 名が単位です。No はこの設定により自動で振ります。ただし試した場合などでは上書き保存しないでファイルを起動し直してください。（No を消去した場合は機能しなくなります）

「年間・月間」シートは<[\(10\) シートへ一括転送](#)>または<[\(11\) 年間合計印刷データ](#)>と<[\(13\) 月間データ](#)>の実行することでシートの増減をします。

## (29) 氏名の書き出し

「年間全データ」シートから<氏名の書き出し>を選択します。

『「年間全データ」シートの 氏名の書き出しを実行します。よろしいですか?』のメッセージを表示するので<OK>を押します。氏名を新しいブックに書き出しするので名前を付けて「メンバー」フォルダに保存してください。

一度書き出して再取り込みをする場合、その他の理由で年度が変わった場合に書き出して氏名を増減する場合、前項「(6)氏名の取込」の操作により、利用できます。

### (30) 年度の途中で氏名を追加する場合

本プログラムに氏名が無い場合、各自の競技用ファイル（サンプルで示すと「XL\_4R\_GG\_同好会\_2015 03 29.xlsx」）からデータを取り込むことができません。

直接シートに氏名を入力すると「性」と「名」の間の全半角スペースなどの文字列が狂いデータの取り込み時に、不一致で欄外へ氏名含めデータを書き出します。このプログラムは氏名の重複チェックはしません。メンバーフォルダでデータベース化して重複チェックしてください。

- 1) サンプルで説明すると「XL\_4R\_GG\_同好会\_2015 03 29.xlsx」ファイル最右端の「メンバー編集」シートで「I」列末尾に「氏名」を追加して＜メンバー＞フォルダー＜同好会用メンバー＞に書き出してください。更に開いている各自の競技用ファイルを保存してください。
- 2) 本プログラムから＜氏名の取込＞－「ファイルを開く」ダイアログボックスで上記「1)」項で追加した「同好会用メンバー」を開きます。
- 3) 追加する氏名の上を選択し＜OK＞を押すと「年間データ」シート～「年間・月間」の各シートの末尾に氏名を取り込みます。複数の氏名を取り込む場合で各氏名が連続していない場合は 1 個ずつ個別に取り込みしてください。連続していればドラッグしてその範囲を複数同時に取り込みます。

## 5 トラブルが起きた場合

### (1) Excel を開くたびにファイルが見つからないメッセージを表示する

インストールが済んだ後で「XL\_Z4 全試合スコア集計プログラム.xlam」を「3 (5) アンインストール」を実行しないで手動で削除、「XL\_Z4 全試合スコア集計プログラム.xlam」のファイル名を変更、「C:\Users\ユーザー名\AppData\Roaming\Microsoft\AddIns\」フォルダから場所を変更した場合は「図 33 Excel を開くたびに「ファイルが見つからない」メッセージ」の図を表示して、①の場合の例は「Excel2016」で、②の例は「Excel2010」の場合になります。

＜OK＞を押しても Excel を起動するたびに表示します。対処方法は次のとおりです。

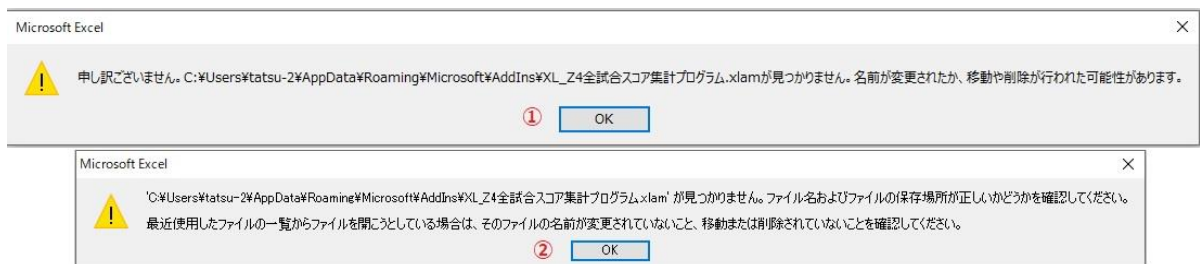


図 33 Excel を開くたびに「ファイルが見つからない」メッセージ

#### 対処方法 1 :

- 1) 白紙の状態では Excel を開いてください。

- 2) <Alt> - <t> - <i> の順でキーを押します。
- 3) 「図 34 XL\_Z4 全試合スコア集計プログラムをリストから削除」の図の裏面側「アドイン」ダイアログが開きます。

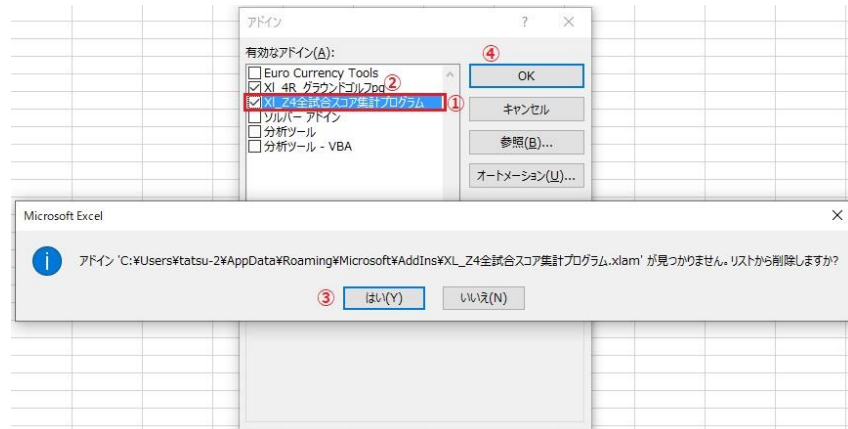


図 34 XL\_Z4 全試合スコア集計プログラムをリストから削除

- 4) 同図の②「XL\_4R グラウンドゴルフ Pg」をチェック「OFF」にします。理由は「Excel2016」の場合「有効なアドイン」すべてがチェック「OFF」でないとアドイン名が削除できないためです。(Excel2010, Excel2013 は削除できるようです。「Excel2016」より後のバージョンは不明です) チェック「ON」が「XL\_Z4 全試合スコア集計プログラム」だけの場合はこの項はスキップしてください。
- 5) 続けて同図の①の「XL\_Z4 全試合スコア集計プログラム」をクリックすると③の「アドイン ～～XL\_Z4 全試合スコア集計プログラム.xlam が見つかりません。リストから削除しますか？」と表示します。
- 6) ③<はい>を押すと「XL\_Z4 全試合スコア集計プログラム」が消えるので④の<OK>を押して終了です。(「XL\_Z4 全試合スコア集計プログラム」のチェックを先に「OFF」した場合、同アドイン名が消えますが、後で「XL\_4R グラウンドゴルフ Pg」のチェック「OFF」にしても構いません)
- 7) 以上で以後は表示しません。当然本プログラムは再度「3 (5) アンインストール」を実行しない限り使えません。

#### 対処方法 2 :

- 1) 「3 (5) アンインストール」により「全試合 Z4 スコア集計インストール・アンインストール.xlsm」を開きます。
- 2) 「図 9 アンインストール」の図が開くので<削除>を押します。
- 3) 「図 35 XL\_Z4 全試合スコア集計プログラムが見つかりません」の図が開きます。

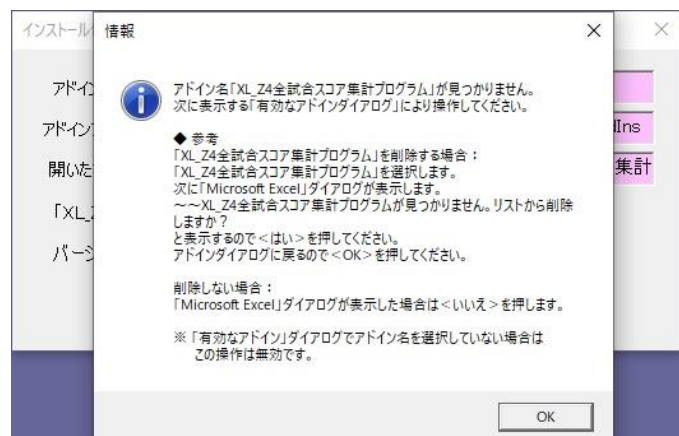


図 35 XL\_Z4 全試合スコア集計プログラムが見つかりません

- 4) 同図に書いてある操作方法是前項の「[対処方法 1 :](#)」の「3)」の操作と同じになりますので同項以降をご覧ください。

**(2) 全試合スコア集計タブを表示しない。その他のトラブル**

- 1) <Alt>-<t>-<i>の順にキーを押してください。
- 2) 「図 36 アドインダイアログ」の図を開くので「XL\_Z4 全試合スコア集計プログラム」のチェックを「OFF」にして無効化にしてください。
- 3) 同図の画面を閉じるので再度上記「1)」の操作をしてチェックを「ON」にして有効化してください。  
以上で初期化してメニューの修復をして起動します。

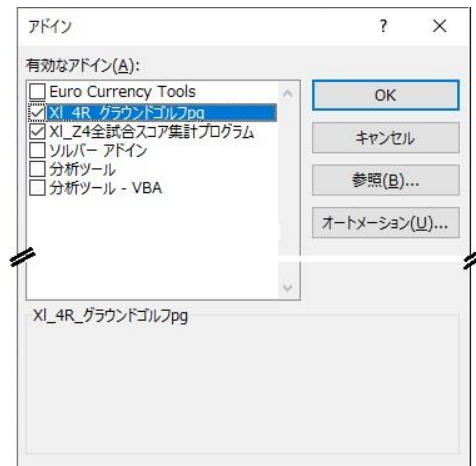


図 36 アドインダイアログ

**(3) ある日突然考えられないような異常な動作をするようになったなどの場合**

Windows のバージョンアップがあった後、考えられないような動作をするといった場合に回復した例があります。このほかの考えられない動作をするような場合は一応以下を試してみてください。(Excel 自体がおかしくなりプログラムは問題ないのに異常ということが過去にあり以下の操作で修復したことがありました)

- 1) Excel をすべて閉じて、添付の「[3 \(5\) アンインストール](#)」を実行してください。
- 2) Windows を再起動します。
- 3) 次に「[3 \(5\) アンインストール](#)」を実行してください。
- 4) 以上で正常に動作するか試してみてください。

## 6 データベース化した本プログラムの使い方要約

この説明は GG 同好会などの試合後に、添付した（「図 4 配布ファイルの内容」参照）次の 2 個のサンプルプログラムを使用して簡単にデータ取り込み集計する総まとめの説明です。

- ◆ XL\_4R\_GG\_同好会\_2015 03 29.xlsx  
・・・「XL\_4R\_グラウンドゴルフ集計プログラム説明書」で説明しているのでこの項では省略します。
- ◆ XL\_Z4\_AR 全試合スコア集計 2014.xlsx

**(1) XL\_Z4\_全試合スコア集計プログラム**

本プログラムを起動するには次の二種類の方法があります。ファイル名はユーザー用に作られた名前に置き換えて解釈してください。

- ◆ 「全試合スコア集計」フォルダから「XL\_Z4\_AR 全試合スコア集計 2014.xlsx」ファイルを直接エクスプローラーなどにより起動する方法があります。
- ◆ 「XL\_4R\_GG\_同好会\_2015 03 29.xlsx」などで試合集計をした後、「毎回入力データ」シートまたは「集計入力データ」シートから「Z4 全試合スコア集計」アイコンをクリックすると「ファイルを開く」ダイアログを表示するので「XL\_Z4\_AR 全試合スコア集計



2014.xlsx」選択して＜開く＞方法が有ります。

- 1) 上記の何れかの方法で「XL\_Z4\_AR 全試合スコア集計 2014.xlsx」を開きます。

「年間全データ」シートで「選択取り込み」アイコンをクリックして「GG 同好会全試合データ 2014」フォルダの**最終日のファイル**「XL\_4R\_GG\_同好会\_2015 03 30.xlsx」を選択し＜OK＞ボタンを押す。

（全ファイルを一括取り込む場合は「全スコアデータ取り込み」を選択して「GG 同好会全試合データ 2014」**フォルダ**を選択して＜OK＞を押します。

全ファイルを一括取り込みする場合はステータスバーの表示を見て少し待つようになります。但し、配布したサンプルでは同フォルダ内には全試合のファイルがサイズの関係で 1 個しか入れてありません。必要な場合は表紙に記載の URL からダウンロードして同フォルダ内に保存してください。）

**参考：**【重要なのは「XL\_4R\_GG\_同好会\_yyyy mm dd.xlsx」などの同年度の競技ファイルを「GG 同好会全試合データ 2014」フォルダ内にまとめて保存し、同じ同好会以外の他のファイルを入れてはいけません。別の「XL\_4R グラウンドゴルフ集計プログラム説明書 V1203」の中から「図 16 ユーザー用フォルダの作り方」の区切り線の下側の①を参照して同好会ごとに別フォルダを作ってください。いくら同好会がたくさんあってもアドイン故に一つのプログラムで動作します】

- 2) ＜シートへ一括転送＞を実行します。（「年間合計印刷」～「優勝回数」シートの集計理が実行されます）
- 3) 「上書き保存」をする。
- 4) 「年間・月間」シートで＜印刷＞アイコンをクリックして印刷をします。下期に入った場合は「上期・下期」シートも印刷します。この他必要なシートがある場合は各シートから＜印刷＞アイコンをクリックしてください。

## 7 バージョンの変更内容

V1.00～V2.01 までのバージョンについては省略します。

バージョンの見方は「図 13 全試合スコア集計タブ」を表示して最下部の「バージョン情報」をクリックすると「図 37 バージョン情報」の図が表示します。

### (1) バージョンアップについての変更内容

- 1) V2.02 バージョンアップ変更内容。

- a. 作者は 2015 年 9 月に Web 上から本プログラムを取得して試験結果を見て公開したので何時からなのか定かではありませんが、セキュリティの設定をしていない場合、更新をしようとしてもメニューが表示できず「アドインの有効」で「XL\_Z4 全試合スコア集計プログラム」にチェックが付いて正しくインストールされてい



図 37 バージョン情報



るのに Microsoft のセキュリティーの関係でメニューが表示しないなどがあったのではと思います。ご迷惑をかけたかも知れず、お詫び申し上げます。

- b. 前 Ver2.01 までのバージョンでは『「XL\_4R\_G ゴルフ」フォルダを捨てて中の「GG 同好会\_4R」、「XL\_4R\_G ゴルフ Add-inPG」、「XL\_4R\_G 分散集計サンプル」、「XL\_Z4 全試合スコア集計PG」の4個のフォルダをドキュメントまたはマイドキュメントにフォルダ丸ごと保存してください。』と記述していました。

しかし「XL\_4R\_G ゴルフ」の配下の関連フォルダがバラバラになり探しにくく、バージョンアップの場合も困るので前記「図 4 配布ファイルの内容」項のように『「XL\_4R\_G ゴルフ 9.00」をフォルダごとドキュメントまたはマイドキュメントに保存してください。』として各所の説明及び関連図を変更しました。

元のままでも使用は可能ですが、後々使用するには直した方が賢明です。

新しいバージョンの「全試合 Z4 スコア集計プログラムインストール.xlsm」で旧バージョンのアンインストールと新バージョンのインストール操作ができます。

「Old\_XL\_4R\_G ゴルフ 803」(末尾はバージョン番号) などのようにフォルダを作りこれまで使用していた上記のアンダーバーで記した旧 4 個を保存しておけば新バージョンの動作が確立するまでの一時的バックアップにもなります。

- c. 「全試合 Z4 スコア集計プログラムインストール.xlsm」と「全試合 Z4 スコア集計プログラムアンインストール.xlsm」を廃止して「全試合 Z4 スコア集計プログラムインストール.xlsm」にして使い易くしました。
- d. 本バージョンでは説明書をかなり変更しています。

## 2) V2.03 バージョンアップ変更内容。

- a. 「全試合 Z4 スコア集計インストール・アンインストール.xlsm」をバージョンアップしたのでこれまでのようにアドインプログラムの「XL\_Z4 全試合スコア集計プログラム.xlam」を過去のバージョンに上書きする方法はできません。「3 (6) 新バージョンに更新する場合」の操作方法によりインストールとアンインストールを行ってください
- b. 前項「a」項のバージョンアップにより、これまでプロパティの「セキュリティー」を「許可する」にチェックを入れる必要がありましたが、その必要が無くなりました。そのことから説明書を修正しています。

## 重要

## 3) V3.00 バージョンアップ変更内容。

- a. バージョンアップする場合は前回の V3.00 バージョンアップから「2) a」の用が変わっているので「3 (6) 新バージョンに更新する場合」を参考にインストールとアンインストールを行ってください。インストールが済んだ場合は運用する前に次項を設定してください。
- b. 「XL\_4R グラウンドゴルフ集計プログラム説明書 V12.03.docx」の「9 (1)3)b」項 V12.03 バージョンアップ変更内容」で説明のようにフォルダ構成が変わっているので同説明書の設定をお願いします。
- c. 「4 (24) 印刷プレビューの余白マージン等の設定について」の項のように印刷マージ

ンの設定を大きく変更しています。「年間全データ」「四半期データ」「年間合計印刷」「週間データ」「月間データ」「優勝回数」シートの印刷をする必要がなく「年間・月間」シートだけ印刷する場合で印刷範囲に問題がある場合は「[プレビューの設定ダイアログの操作説明](#)」を参考により設定してください。

- d. 「全試合 Z4 スコア集計インストール・アンインストール.xlsm」をバージョンアップしています。「[3 \(6\) 新バージョンに更新する場合](#)」で新バージョンから旧バージョンの削除を操作し易くしたことで「[対処方法 2:](#)」の機能を追加して Ver2.07 にしています。その他、実際には問題ですが、間違えて「XL\_Z4 全試合スコア集計プログラム.xlam」を手で削除した場合の「有効なアドイン」ダイアログでアドイン名を削除することに対応しています。「[3 \(6\) 新バージョンに更新する場合](#)」の操作方法によりインストールとアンインストールを行ってください。
  - e. 上記「[b](#)」項に伴いメニューの中からファイルを選択する場合にファイルを探し易いようにプログラムの各所を修正しています。
  - f. 「[4 \(24\) 印刷プレビューの余白マージン等の設定について](#)」の設定方法をより操作をし易く「年間全データ」「四半期データ」シートの場合メニューが 2 個表示して表示する日付の数により使用者の判断で選択していたメニューを 1 個は影に表示するように改良しました。
  - g. フォルダ構成を変えましたがフォルダやファイルの選択する位置を直接表示して選択を容易にできるようにしました。
  - h. 説明書をかなり修正しています。
- 4) V4.00 バージョンアップ変更内容。
- a. リボンのタブに変更しました。データはバージョンを前バージョン 3.00 に更新してあれば、そのまま使用できます。
  - b. Excel64 ビットの動作に対応するため「アンインストール」をした場合に「[3 \(5\) 4](#)」項でゴミ箱に入れていた「XL\_Z4 全試合スコア集計プログラム.xlam」を完全削除とし「全試合 Z4 スコア集計インストール・アンインストール.xlsm」のバージョンアップをしました。
  - c. 「XL\_Z4 全試合スコア集計 PG」フォルダの中に「XL\_Z4 全試合スコア集計説明書 V300.pdf」を入れるべきところを「XL\_4R グラウンドゴルフ集計プログラム説明書 V1000.pdf」を入れて配布しました。表紙に記載のホームページから Word 版がダウンロードできました表紙を見られたかわかりませんがそれは別として申し訳ありませんでした。
  - d. 本説明書に古いバージョンの説明が残っている部分があったのとリボンに変更したので全面的に修正しました。
- 5) V4.01 バージョンアップ変更内容。
- a. Ver4.00 で修正漏れを補正しています。但し、4.00 による特に問題は起きていません。このバージョンではアンインストールとインストールをするだけで現用の試合ファイルを使用できます。

6) Ver5.00 バージョンアップ変更内容。

- a. 年度の途中から新規開設をした場合にエラーが発生して集計できないという重大なバグがあることがわかりました。(但し、4月、7月、10月から新規開始の場合は問題ありませんが、これ以外の月から開設の場合はエラーになります)大変ご迷惑をお掛けして申し訳ございません。
- b. これまでに使用してうまく行かなかったユーザー用の「XL\_Z4\_AR 全試合スコア集計\*.xlsx」にあたる名前のファイルを再度試行する場合は「4 (5) 全シート表の初期化」して実行してください。その場合、期間中に氏名が増減なければそのまま、増減があれば同ダイアログのチェックマークを OFF にして「4 (6) 氏名の取込」を実行し「4 (9) 選択取り込み」でダイアログに表示するように Shift キーを使用して全試合を選択して一括取り込みできます。次に「4 (10) シートへ一括転送」を実行してください。集計が実行されます。
- c. 「優勝回数」シートで「自: yymmdd～ 至: 氏名」とある時期のバージョンから表示していたバグを至: に対して正しく日付を表示するように修正しました。

7) Ver5.01 バージョンアップ変更内容。

- a. 初期化を実行した場合「年間・月間集計表」シートで H3:I3 と R3:S3 と S1 セルがクリアしないので修正しました。但し「スコアデータを各シートへ一括転送」を実行するとデータを上書するので問題はなく初期化した直後の見た目だけの問題です。

8) Ver5.02 バージョンアップ変更内容。

- a. 「年間・月間」シート以外のシートで「上書き保存」ボタンを押した場合に、各シートの選択セルをホーム位置に戻して「年間全データ」シートを選択して保存するようにしました。開いた場合に「年間全データ」シートを表示させるためです。

- b. 「年間・月間」シートのセル「L1」に集計期間を表示するようにしました。  
「XL\_4R\_グラウンドゴルフ Pg」で作る「点数準集計表」と一緒に掲示する場合は問題ないのですが、「年間・月間」シートの成績表だけを印刷した場合に試合の集計期間をわかり易くする表示するためです。「年間・月間」シートの変更イメージは別の「XL\_4R\_グラウンドゴルフ集計プログラム説明書」の「図 6 年間・月間集計表」の第 1 行目の右側の「自: 2014/04/03～至: 2015/03/28」のように表示します。

- c. 上記の続きになりますが、既に「XL\_Z4 全試合スコア集計プログラム」をご使用されている場合は使用中の「年間全データ」シートで「シートへ一括転送」ボタンを押して集計した後「年間・月間」シートに移動してセル「L1」を選

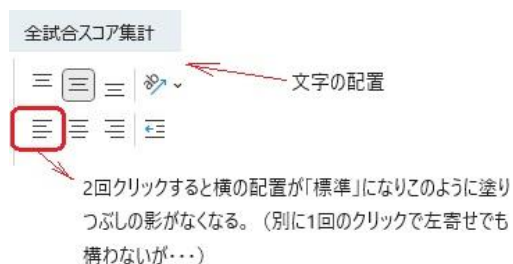


図 38 自～至の位置の文字列配置

択し「ホーム」タブをクリックし、フォントサイズを「11」にして文字サイズを小さくした後、「図 38 自～至の位置の文字列配置」図で示す「配置」の赤枠「左揃え」ボタンを 2 回押して横位置を「標準」にしてください。2 回押しすると標準になります。

す。(1 回押しの場合は左揃えです。別に左揃えでも構わないのですが・・・)

9) Ver5. 03 バージョンアップ変更内容。

- a. 「(15) 半期データ」シートと「4 (17) 「年間・月間」シート」を追加して下期のデータ集計を分かり易い機能追加しました。詳細は同項を参照してください。
- b. 上記「a」項の関係でシートを追加したためにプログラムを更新して、これまで使用していた各自の同好会のデータをそのまま使用する当然とエラーになります。そのためエラーが発生させた場合は一旦プログラムを終了して次の「c」項を参考にシートを追加してください。
- c. シートの追加方法には本項と次の「d」項とが有り何れか好きな方を実行して下さい。
  - 1) 配布した「XL\_4R\_G ゴルフ 12.03」ファイルをドキュメントに保存され、構成で<XL\_4R\_G ゴルフ 12.03>—<GG 同好会\_4R>—<GG 同好会全試合データ 2014>—<全試合スコア集計>の中の「XL\_Z4\_AR 全試合スコア集計 2014.xlsx」をご使用中のユーザーフォルダ内（詳しくは別の「XL\_4R グラウンドゴルフ集計プログラム説明書 V1203」の「図 39 ユーザー用フォルダの作り方」の区切り線の下側エリアで⑨に該当する場所のデータです）に、保存します。
  - 2) 現用のユーザー用ファイルの先頭に「Old\_」などの文字を入れて失敗した場合のためにバックアップしておいてください。
  - 3) 「XL\_Z4\_AR 全試合スコア集計 2014.xlsx」を「Old\_」を付ける前の上記ユーザー用ファイルと同じになるように名前を付け替えてそのファイルを起動してください。
  - 4) 「半期データ」と「上期・下期」シートが追加されたサンプルファイルを初期化してユーザーの今後の運用ファイルに以下の操作で変更します。
  - 5) <年間全データ>—<全シートの初期化>メニューをクリックして「氏名の列を残す」のチェックマークをクリックします。(名前をすべて削除するためです)
  - 6) 次は、ユーザーの氏名を取り込みます。(操作方法は「4 (6) 氏名の取込」を参照してください。) 氏名の取り込みが済んだら、次は以下の操作です。
  - 7) 次に「4 (7) 全スコアデータ取り込み」を使用して全データを取り込みます。(この場合はダイアログに書いてあるようにフォルダだけをクリックします)  
または何時も使用しておられる取り込み方法で「4 (9) 選択取り込み」を使用する場合は先頭のデータをクリックし「Shift」キーを押しながら最終試合のデータをクリックして<開く>を押す操作でデータを取り込んでください。
  - 8) 少し時間が掛りますが、下部のステータスバーにファイルの取り込み状況を順次表示します。
  - 9) 「年間全データ」シートから「シートへ一括転送」を実行します。以下「図 40 シートを追加する」の図の「②」半期データシートと「④」「上期・下期」シートに結果を表示します。
  - 10) 上書き保存をすることを忘れないでください。
- d. 現用のユーザー用データに「半期データ」、「上期・下期」のシート名を追加する場合

の「c」項とは別の操作方法

- 1) 「XL\_Z4\_AR 全試合スコア集計 2014.xlsx」に該当する現用のユーザー用データを開いてください。シートには「図 40 シートを追加する」の「②」と「④」はありませんが追加する方法を以下で説明します。



図 40 シートを追加する

- 2) 先ず、「①」の「四半期データ」シートをクリックしたまま、同時に「Ctrl」を押して「優勝回数」との間に「+」マークが出たら手を放と「四半期データ(2)」が同図の「②」の位置にできるのでその上で右クリックして「名前の変更」をクリックし「半期データ」にシート名を変更します。
  - 3) 次は「年間・月間」シートをクリックしたまま、同時に「Ctrl」を押して「年間・月間」の右側のすぐ空いた位置で手を放と「年間・月間(2)」が同図の「④」の位置にできるので、その上で右クリックして「名前の変更」をクリックし「上期・下期」にシート名を変更します。
  - 4) 「上期・下期」シートの「I1」セルをクリックして「(年間)」から「(上期)」に変更してください。
  - 5) 「上期・下期」シートの「S1」セルをクリックして「(×月)」から「(下期)」に変更してください。
  - 6) 後は前記「5)」項 <年間全データ>—<全シートの初期化>メニューを・・・の項から順次実行すると終わりです。
- e. 1月～3月の間で本プログラムを使って集計を開始した場合に取り込みできないバグがあり修正しています。
- f. 四半期データシートの「四半期データ取り込み」を実行した場合に選択した四半期の範囲より後の試合月日がある場合に最終試合日までのすべてを取り込むバグがありました。「年間データ」シートで「シートへ一括転送」を実行した場合は試合月より後がないので関係ありません。その他各種のバグを修正しています。
- g. 本説明書では何度もバージョンアップした関係で旧バージョンの説明から修正されていない部分が各所にあったのでしいバージョンに合うように修正しています。

## 8 拡張子の説明

### (1) 拡張子について

#### 1) ファイル名の例：

「XL\_Z4 同好会 yyyy mm dd.xlsx」(この場合「xlsx」が拡張子です)

ファイル名の最後に表示する「.」から右側に表示した文字列で、ファイルの種類または形式を識別する目的です Excel2000～2003 では「xls」、Excel2007 以降のバージョンの場合は「xlsx」となります。



Word2000～2003 の場合は「doc」 Word2007 以降では「docx」となります。

- 2) Excel2007 以降で、「GG 同好会メンバー.xlsx」のようにマクロを含む場合は「xlsm」となります。

**(2) Windows10 の拡張子の表示方法：**

- 1) エクスプローラーを開きトップの<表示>タブを選択します。
- 2) <オプション>を選択します。
- 3) 「フォルダーオプション」が表示するのでトップの<表示>をクリックします。
- 4) 「詳細設定」ボックスから「登録されている拡張子は表示しない」のチェックを外して、「OK」をクリックします。

**(3) Windows11 の拡張子の表示方法：**

- 1) エクスプローラーを開きトップの「…」をクリックして<オプション>を選択します。
- 2) 「フォルダーオプション」が表示するのでトップの<表示>をクリックします。
- 3) 「詳細設定」ボックスから「登録されている拡張子は表示しない」のチェックを外して、「OK」をクリックします。